I-O DATA

PC98-NXシリーズ・DOS/Vマシン用

IEEE802.11a無線LAN PCカードアダプタ

WN-A54/PCM

取扱説明書

株式会社 アイ・オー・データ機器

105686-01

【ご注意】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
3) 本製品及び本書の内容について、不審な点やお気づきの点がございましたら、弊社PLANTコールセンターまでご連絡ください。
4) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。
5) 本製品は日本国外では使用できません。
6) 本サポートソフトウェアの使用にあたっては、バックアップ保有の目的に限り、各1部だけ複写できるものとします。
7) 本サポートソフトウェアに含まれる著作権等の知的財産権は、お客様に移転されません。
8) 本サポートソフトウェアのソースコードについては、如何なる場合もお客様に開示、使用許諾を致しません。また、ソースコードを解明するために本ソフトウェアを解析し、逆アセンブルや、逆コンパイル、またはその他のリバースエンジニアリングを禁止します。
9) 書面による事前承諾を得ずに、本サポートソフトウェアをタイムシェアリング、リース、レンタル、販売、移転、サブライセンスすることを禁止します。
10) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関る設備や機器、及び海底中継機、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
11) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
12) お客様は、本サポートソフトウェアを一時に1台のパソコンにおいてのみ使用することができます。
13) お客様は、本製品または、その使用権を第三者に対する再使用許諾、譲渡、移転またはその他の処分を行うことはできません。
14) 弊社は、お客様が【ご注意】の諸条件のいずれかに違反されたときは、いつでも本製品のご使用を終了させることができるものとします。

- I-O DATA,PLANTは、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
- Microsoft,Windows,Windows NTは、米国 Microsoft Corporationの登録商標です。
- その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

もくじ

もくじ ····· i
本書での呼び方 ····· iii
本製品が使用できるまでの流れ ····· iv
本製品の特長 ····· vi
必ずお守りください ····· viii
本製品で使用する電波について ····· xiii
その他使用上の注意 ····· xiv

第1章 使う前に ····· 1
箱の中の確認 ····· 2
動作環境の確認 ····· 3
各部の名称・機能 ····· 6

第2章 設置とインストール ····· 7
1. アクセスポイントを設置する ····· 8
2. Windows XPで使う ····· 9
3. Windows 2000で使う ····· 14
4. Windows Meで使う ····· 20
5. 設定ユーティリティのインストール ·· 25

第3章 使ってみる ····· 39
アクセスポイントと通信する ····· 40
無線LANアダプタのみで通信する ····· 53
通信を暗号化する ····· 69
設定ユーティリティを使う ····· 73

第4章 その他の操作 ····· 81
インストール状態を確認する ····· 82
本製品を取り外す ····· 92
本製品を削除する（アンインストール） ·· 94

ふろく ····· 107
困ったときには ····· 108
IPアドレス設定例 ····· 119
本製品のMACアドレスについて ····· 124
用語解説 ····· 125
仕様 ····· 128

PLANTコールセンターへのお問い合わせ ····· 129
設定ユーティリティのバージョンアップ ····· 130
保証について ····· 131
修理について ····· 132

本書での呼び方

呼び方	意味
Windows XP	Microsoft® Windows® XP Professional Operating System、Microsoft® Windows® XP Home Edition Operating Systemの総称
Windows 2000	Microsoft® Windows® 2000 Professional Operating System
Windows Me	Microsoft® Windows® Millennium Edition Operating System
Windows XP/2000	Windows XP, Windows 2000の総称
Windows	Windows XP, Windows 2000, Windows Meの総称
アクセスポイント	弊社製無線LANアクセスポイント内蔵ブロードバンドルータ「WN-A54/BBR」

本製品が使用できるまでの流れ

本製品は、無線LAN PCカードアダプタです。
本製品を使用する場合、以下の流れに沿ってお読みください。

第1章 取り付け前の確認・準備

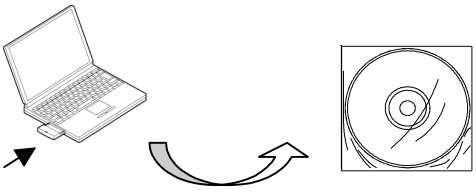
本製品を取り付ける前の確認・準備を行います。

- 箱の中身を確認します。
- 本製品を使用できるパソコンの機種やOSを確認します。
- 各部の名称・機能を確認します。

第2章 設置とインストール

本製品を使用する上で必要な「サポートソフトディスク」内の
ドライバソフトと設定ユーティリティを
インストールします。

添付のサポートソフトディスク
（CD-ROM）
・設定ユーティリティソフト
・ドライバ



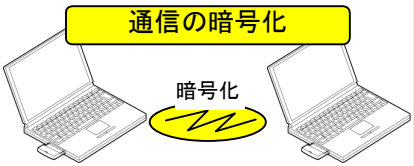
①本製品の挿入　　②インストール

第3章 使ってみる

本製品を使ってみましょう。



本製品同士での通信



暗号化の標準であるWEPを使用して
通信を暗号化



無線LAN アクセスポイントとの通信

本製品の特長

■伝送速度約5倍※。超高速54Mbpsワイヤレス通信。

MPEG2動画も伝送可能。ブロードバンドに余裕の実力。
（※IEEE802.11b比較時の目安。）

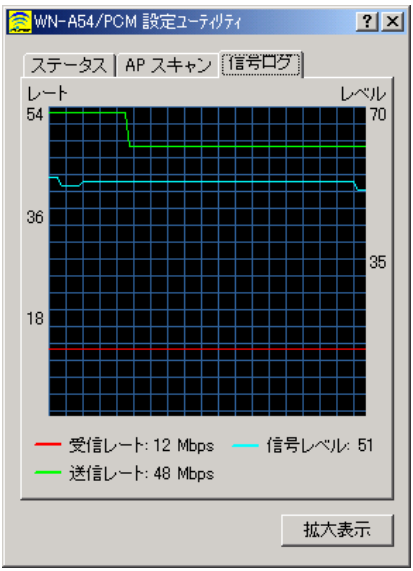
■IEEE802.11b無線LANとも混在使用可能。

使用電波帯が異なるため、混在利用が可能です。（お互いに通信はできません。）

■通信状態モニタ機能でビジュアル表示

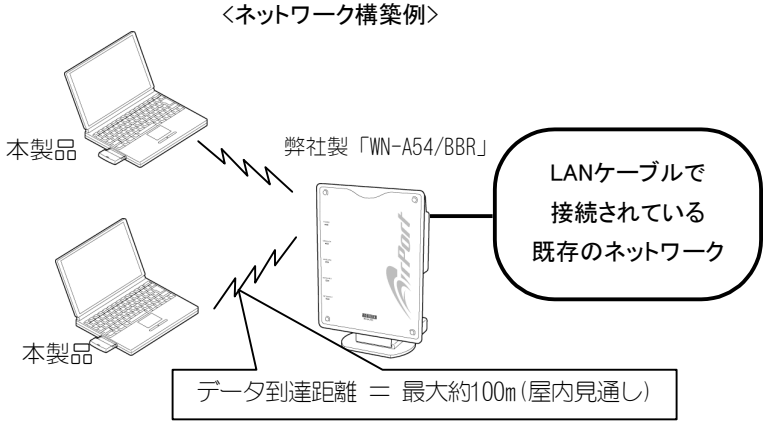
送信レート・受信レート・信号レベルをリアルタイムにビジュアル表示。
見えない電波状態へのイライラ解消。

▼設定ユーティリティ内の信号ログ



■弊社製無線LANアクセスポイント「WN-A54/BBR」と通信接続が可能

無線LANアクセスポイント「WN-A54/BBR」を使用したネットワークと通信することができます。



■PCカードだから、簡単インストール

インストール後はパソコンにPCカードを差し込むだけで、
簡単にネットワークが利用できるので、ノートパソコンに最適です。

必ずお守りください

ここでは、お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。
ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

■警告及び注意表示

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人体に多大な損傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵記号の意味

△

この記号は注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。
例）　「発火注意」を表す絵表示

⃠

この記号は禁止の行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。
例）　「分解禁止」を表す絵表示

●

この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。
例）　「電源プラグを抜く」を表す絵表示

⚠ 警告


厳守

本製品を使用する場合は、ご使用のパソコンや周辺機器のメーカーが指示している警告、注意表示を厳守し、正しい手順で使用してください。

警告・注意事項を無視すると人体に多大な損傷を負う可能性があります。また、正しい手順で操作しない場合、予期せぬトラブルが発生する恐れがあります。ご使用のパソコンや周辺機器のメーカーが指示している警告、注意事項、正しい手順を厳守してください。


分解禁止

本製品をご自分で修理・分解・改造しないでください。

火災や感電、やけど、故障の原因となります。
修理は弊社修理係にご依頼ください。分解したり、改造した場合、保証期間であっても有償修理となる場合があります。


電源プラグを抜く

煙が出たり、変な臭いや音がしたら、すぐに使用を中止してください。

電源がある場合は、電源を切ってコンセントからプラグを抜いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。


発火注意

本製品の取り扱いは、必ず取扱説明書で接続方法をご確認になり、以下のことにご注意ください。

- ●接続ケーブルなどの部品は、必ず添付品または指定品をご使用ください。指定品以外を使用すると火災や故障の原因となります。
- ●ケーブルにものをのせたり、引っ張ったり、折り曲げ・押しつけ・加工などは行わないでください。火災や故障の原因となります。
- ●ボード製品の場合は、指定されたスロットにきちんと差し込んでください。正しく装着されていないと、火災および故障の原因となります。


厳守

本製品の取り付け、取り外し、移動の際は、本製品の取扱説明書をご確認になり、必ずパソコン本体・周辺機器および本製品※の電源スイッチを切り、コンセントからプラグを抜いてから行ってください。

※電源スイッチを持っていない製品、Plug & Play製品（USB, IEEE 1394, PCカードなど）は除く。

電源コードを抜かずに行うと、感電および故障の原因となります。


水濡れ禁止

本製品を濡らしたり、水気の多い場所で使用しないでください。

お風呂場、雨天・降雪中、海岸・水辺での使用は火災・感電・故障の原因となります。


厳守

決められた電流内で使用してください。

本製品を出力電流の絶対最大定格を超えた電流で使用または保管すると火災・感電・故障の原因となります。


禁止

故障や異常のまま、通電しないでください。

本製品に故障や異常がある場合は、必ずパソコンから取り外してください。また、電源や AC アダプタがある場合は、通電をしないでください。そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。


禁止

本製品を病院内で使用しないでください。

医療機器の誤動作の原因になることがあります。


禁止

心臓ペースメーカーの装着部位から 22cm 以上離して使用する。

電波によりペースメーカーの動作に影響を与える恐れがあります。


禁止

本製品を飛行機の中で使用しないでください。

飛行機の計器などの誤動作の原因になります。飛行機の中ではコンピュータの PC カードスロットから本製品を取り外してください。


禁止

本製品を屋外で使用しないでください。

法令により、本製品の屋外での使用は禁止されています。


禁止

日本国外で使用できません。

⚠ 注意



本製品を使用する際に、取扱説明書などでの操作手順説明と異なった操作をしてデータが消失した場合は、データの保証は一切いたしかねます。

取扱説明書などで、操作方法を確認して操作してください。
また、故障に備えて定期的にバックアップを行ってください。
修理の際、検査のためにデータの消去などを行う場合があります。修理にお出しになる前にもバックアップを行ってください。



本製品は以下のような場所（環境）で保管・使用しないでください。

故障の原因となることがあります。

- ●振動や衝撃の加わる場所
- ●直射日光のあたる場所
- ●湿気やホコリが多い場所
- ●温湿度差の激しい場所
- ●熱の発生する物の近く（ストーブ、ヒータなど）
- ●強い磁力・電波の発生する物の近く
  （磁石、ディスプレイ、スピーカ、ラジオ、無線機など）
- ●水気の多い場所（台所、浴室など）
- ●傾いた場所
- ●本製品に通風孔がある場合は、その通風孔をふさぐような場所
  （保管は問題ありません）
- ●腐食性ガス雰囲気中（Cl_2、H_2S、NH_3、SO_2、NO_Xなど）
- ●静電気の影響の強い場所
- ●保温性・保湿性の高い（じゅうたん・スポンジ・ダンボール箱・発泡スチロールなど）場所（保管は問題ありません）



本製品は精密部品です。以下のことにご注意ください。

- ●落としたり、衝撃を加えたりしない
- ●本製品の上に水などの液体や、クリップなどの小部品を置かない
- ●重いものを上にのせない
- ●本製品内部に液体、金属、たばこの煙などの異物を入れない



本製品のコネクタ部分には直接手を触れないでください。

静電気が流れ、部品が破壊されるおそれがあります。また、静電気は衣服や人体からも発生するため、本製品の取り付け・取り外しは、スチールキャビネットなどの金属製のものに触れて、静電気を逃がした後で行ってください。



パソコンから本製品にアクセス中（アクセスランプ点灯中）に電源を切ったり、パソコンをリセットしないでください。

故障の原因になったり、データが消失するおそれがあります。

本製品で使用する電波について

本製品は、5.2GHz帯域の電波を使用しています。
本製品を使用する上で、無線局の免許は必要ありませんが、以下の注意をご確認ください。

・以下の近くでは使用しないでください。

・ペースメーカー等の産業・科学・医療用機器等
・工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）
・特定小電力無線局（免許を要しない無線局）

上記の近くで本製品を使用すると、電波の干渉を発生する恐れがあります。
そのため、通信ができなくなったり、速度が遅くなったりする場合があります。

・携帯電話・PHS・テレビ・ラジオを本製品の近くでは、できるだけ使用しないでください。

携帯電話・PHS・テレビ・ラジオ等は、無線LANとは異なる電波の周波数帯を使用しています。
そのため、本製品の近くでこれらの機器を使用しても、本製品の通信およびこれらの機器の通信に影響はありません。
ただし、これらの機器を無線LAN製品に近づけた場合は、本製品を含む無線LAN製品が発する電磁波の影響によって、音声や映像にノイズが発生する場合があります。

・間に鉄筋や金属およびコンクリートがあると通信できません。

本製品で使用している電波は、通常の家屋で使用されている木材やガラス等などは通過しますので、部屋の壁に木材やガラスがあっても通信できます。
ただし、鉄筋や金属およびコンクリートなどが使用されている場合、電波は通過しません。部屋の壁にそれらが使用されている場合、通信することはできません。
同様にフロア間でも、間に鉄筋や金属およびコンクリート等が使用されていると通信できません。

・本製品を屋外で使用しないでください。

法令により、本製品の屋外での使用は禁止されています。

その他使用上の注意

本製品は非常に精密にできておりますので、お取り扱いに際しては十分注意してください。

・取り扱い上の注意

・コネクタ部分に金属を差し込まないでください。
・ぬらさないでください。
・ラジオやテレビ、オーディオ機器の近くでは高周波の信号により、ノイズを与えることがあります。
・モータなどノイズが発生する機器の近くでは誤動作することがありますので、必ず離してお使いください。

・使用上の注意

・本製品はパソコンの「スタンバイ」、「スリープ機能」、「レジューム」、「ハイバネーション」には対応しておりません。
本製品を使用する場合は、これらの機能は無効に設定してください。

・修理について

・本製品の修理は弊社修理センターにご依頼ください。（【修理について】(132ページ)参照）
改造などを行って、電気的および機械的特性を変えて使用することは絶対にお止めください。

第1章

使う前に

この章では、本製品をパソコンへ取り付ける前の準備について、順を追って説明しています。

箱の中の確認 2ﾍﾟｰｼﾞ

箱の中身を確認します。

動作環境の確認 3ﾍﾟｰｼﾞ

本製品に必要な動作環境を確認します。

各部の名称・機能 6ﾍﾟｰｼﾞ

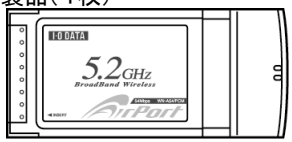
本製品の各部の名称・機能を確認します。

箱の中の確認

ご使用の前に以下のものがそろっていることをご確認ください。
万一、不足品がありましたら、弊社PLANTコールセンターまでお知らせください。

箱・梱包材は大切に保管し、修理などの輸送の際にご利用ください。

☐ 本製品（1枚）



☐ ハードウェア保証書（1枚）



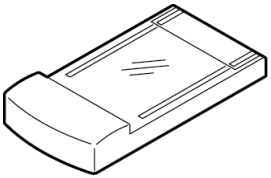
☐ サポートソフトディスク（1枚）
［CD-ROM］



☐ ハードウェアシリアルNo.シール（1枚）



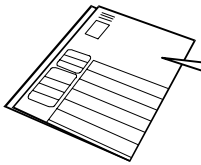
☐ 専用ケース（1個）



☑ 取扱説明書（1冊）



☐ ユーザー登録カード（1枚）



ユーザー登録は済ませましたか？
「ユーザー登録カード」に登録方法が記載されています。
登録してから次ページへ進みましょう。

動作環境の確認

本製品の動作環境を確認します。

対応機種

- CardBus規格に準拠したPCカードスロット(PCMCIA TYPEⅡ) を搭載し、CD-ROMドライブ（「サポートソフト」のインストール用）を搭載※した下記の機種
  - ・NEC PC98-NXシリーズ
  - ・DOS/Vマシン

    弊社では、OADG加盟メーカーのDOS/Vマシンで動作確認を行っております。

※ CD-ROMドライブが無い場合は、5ページを参照してください。

対応OS(日本語版)

- Windows XP
- Windows 2000
- Windows Me

通信可能機器

IEEE802.11a準拠の無線LAN製品と通信できます。
既存の有線LAN（LANケーブルで接続されているネットワーク）との接続には、アクセスポイント（以下のWN-A54/BBR）が必要です。

《弊社製品例:WN-A54シリーズ》

- WN-A54/PCM　（本製品同士）
- WN-A54/BBR　（別売の弊社製無線LANブロードバンドルータ）



注意！

・以下とは通信できません。
弊社製　無線 LAN PC カード PCWN-W10、弊社製コードレスネットワーク WN-B11 シリーズ、弊社製コードレスネットワークシンフォニーシリーズ(WN-S/560, WN-S/PCI, PCWN-S)、弊社製無線スイッチングハブ WNA-FSWH4、その他 2.4GHz 帯使用の IEEE 802.11b/Bluetooth 機器

・最新のサポートソフトは、弊社ホームページ(http://www.iodata.jp/lib/)にてダウンロードできます。

・屋外での使用は電波法により禁じられています。

・日本国外での使用はできません。

PCカード接続でCD-ROMドライブをお使いの場合

本製品を使用するには、「サポートソフト」ディスクをインストールするためのCD-ROMドライブが必要です。

パソコンにPCカードスロットが1つのみで、かつPCカード接続のCD-ROMドライブをお使いの場合、インストール時にCD-ROMドライブが使えません。

以下の方法で「サポートソフト」の内容をハードディスクにコピーしておいてください。（インストール手順については、【第２章】（７ページ）を参照してください。）

1 パソコンにCD-ROMドライブを接続し、
パソコンの電源を入れます。

2 ①エクスプローラを起動します。

・*Windows XPの場合*

［スタート］→［すべてのプログラム］→［アクセサリ］→［エクスプローラ］を順にクリックします。

・*Windows 2000の場合*

［スタート］→［プログラム］→［アクセサリ］→［エクスプローラ］を順位クリックします。

・*Windows Meの場合*

［スタート］→［プログラム］→［エクスプローラ］を順にクリックします。

②[すべてのファイルを表示する]に設定します。

1. ［ツール］メニューの［フォルダ オプション］を選びます。
2. ［表示］タブに移動し、［すべてのファイルとフォルダを表示する］をチェックします。（Windows XPの場合は、［表示］タブの［詳細設定］欄にあります。）
3. ［OK］ボタンをクリックします。



参考

[ツール]メニューの[フォルダ オプション]が無い場合、以下の手順で設定します。
→①[表示]メニューの[フォルダ オプション]を選びます。
②[表示]タブの[すべてのファイルを表示する]をチェックします。
③[OK]ボタンをクリックします。

3 CD-ROMドライブに
「サポートソフト」ディスクをセットします。

4 ハードディスクドライブ（Windowsなどがインストールされている
ドライブ）に、任意のフォルダ（ディレクトリ）を作成します。

5 「サポートソフト」ディスクの内容をすべて手順**4** で作成した
フォルダ（ディレクトリ）にコピーします。

このあと、【第2章】でのインストール時の手順内では、
サポートソフトディスクが要求された時に、上記の手順**4** で作成したフォルダ内の「WINXP」（「WIN2000」「WINME」フォルダ）を指定してください。

CD-ROMドライブが無い場合

本製品を使用するには、「サポートソフト」ディスクを
インストールするためのCD-ROMドライブが必要です。
パソコンにCD-ROMドライブが無い場合は、以下を行ってください。

1 インターネット上の弊社ホームページ（http://www.iodata.jp/lib/）
より、本製品の「設定ユーティリティ」のファイルを入手します。

2 ハードディスクドライブ（Windowsがインストールされているドライブ）に、任意のフォルダを作成し、入手したファイルをそのフォルダで展開してください。

このあと、【第2章】でのインストール時の手順内では、
サポートソフトディスクが要求された時に、上記の手順**4** で作成したフォルダ内の「WINXP」（「WIN2000」「WINME」フォルダ）を指定してください。

各部の名称・機能

各部の名称および機能の確認を行います。



NETWORK	POWER	状態
点滅		通信中 （通信量により、点滅速度が変わります。）
ゆっくり点滅		通信待機中 （通信可能な状態ですが、データの送受信は行われていません。）
交互にゆっくり点滅		PCカードに問題はありませんが、接続が確立されていません。
消灯		PCカード電源OFF （PCカードが通電していない。）

第2章

設置とインストール

この章では、本製品を使用する上で必要なドライバソフトのインストール手順について説明します。お使いのOSに該当するページのみご覧ください。

1. アクセスポイントを設置する 8ﾍﾟｰｼﾞ

弊社製アクセスポイント「WN-A54/BBR」をお使いの場合にご覧ください。

2. Windows XPで使う 9ﾍﾟｰｼﾞ

Windows XPへのインストール方法を説明します。

3. Windows 2000で使う 14ﾍﾟｰｼﾞ

Windows 2000へのインストール方法を説明します。

4. Windows Meで使う 20ﾍﾟｰｼﾞ

Windows Meへのインストール方法を説明します。

5. 設定ユーティリティのインストール 25ﾍﾟｰｼﾞ

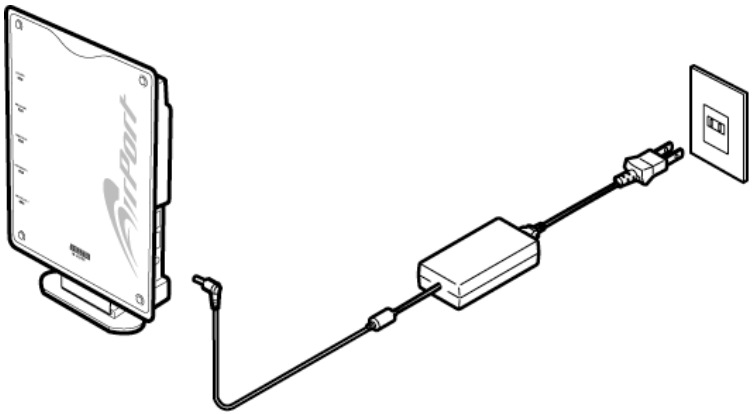
設定ユーティリティをインストールします。

1. アクセスポイントを設置する

弊社製無線LANアクセスポイント内蔵ブロードバンドルータ『WN-A54/BBR』と通信する場合は、以下の方法で設置をしておいてください。アクセスポイントを介さない“Ad hocモード”で通信する場合は、読み飛ばしてください。

アクセスポイント（WN-A54/BBR）の電源を入れた状態で設置します。

アクセスポイントの設置方法については、アクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。



注意！

はじめて設定する場合は、ADSL モデムやケーブルモデムとつなぐ必要はありません。アクセスポイント側のインターネット接続に関しては本製品との無線接続が終了した後にアクセスポイント（WN-A54/BBR）付属の取扱説明書を参照して設定を行ってください。

2. Windows XPで使う

ここでは、Windows XPでのインストール手順について説明します。



注意！

パソコンへ Windows XP をインストールする、もしくは、OS を Windows XP にアップグレードにてインストールする際には、本製品を取り外した状態で行ってください。
Windows XP のインストール完了後、パソコンの電源を切り、再度本製品を取り付けてから行ってください。

用意するもの

・「サポートソフト」ディスク



注意！

・PC カードスロットが1つのみのパソコンで、PC カード接続の CD-ROM ドライブをお使いの方は、インストール時に CD-ROM ドライブが使えません。
本製品を接続する前に、4ページの手順で「サポートソフト」ディスクの内容をハードディスクにコピーしてください。
次ページ以降では、サポートソフトディスクの挿入は不要となります。また、11 ページの手順 6 で指定するフォルダは、コピーしたフォルダ内の[WINXP]フォルダを指定してください。
・パソコンに CD-ROM ドライブが無い場合は、5ページを参照してください。
次ページ以降では、サポートソフトディスクの挿入は不要となります。
また、11 ページの手順 6 で指定するフォルダは、展開したフォルダ内の[WINXP]フォルダを指定してください。

インストール

1 本製品をパソコンのPCカードスロットに挿入します。

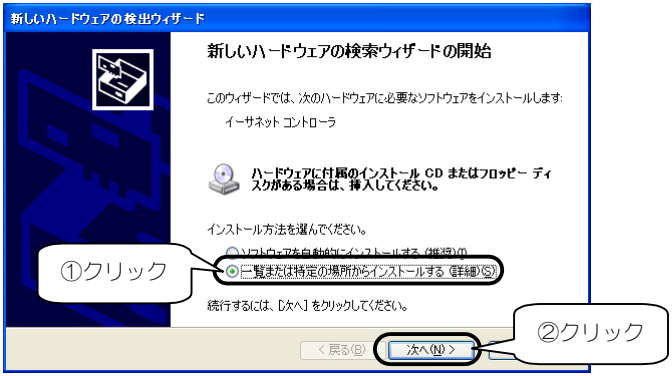


注意！

PC カードスロットが上下に 2 つある機種をお使いの場合は、本製品を必ず上の PC カードスロットに挿入してください。

2 Windows XPを起動します。
※コンピュータの管理者のアカウントでログインしてください。

3 しばらくして、以下の画面が表示されますので、
[一覧または特定の場所からインストールする]をチェック後、
[次へ]ボタンをクリックします。

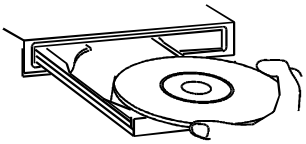




このインストール画面が
表示されない場合は…

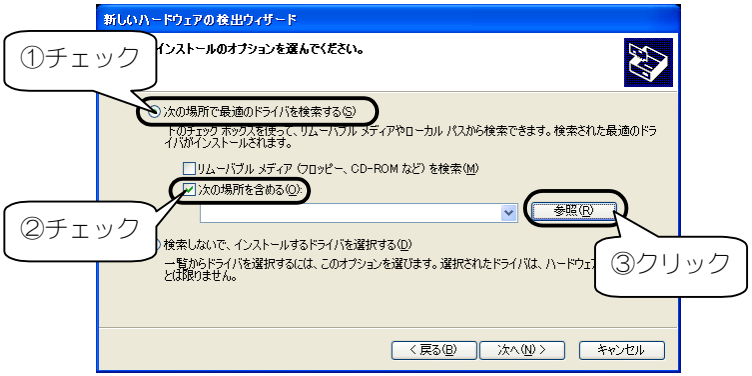
【困ったときには】の
113 ページ
をご参照ください。

4 サポートソフトをCD-ROMドライブにセットします。

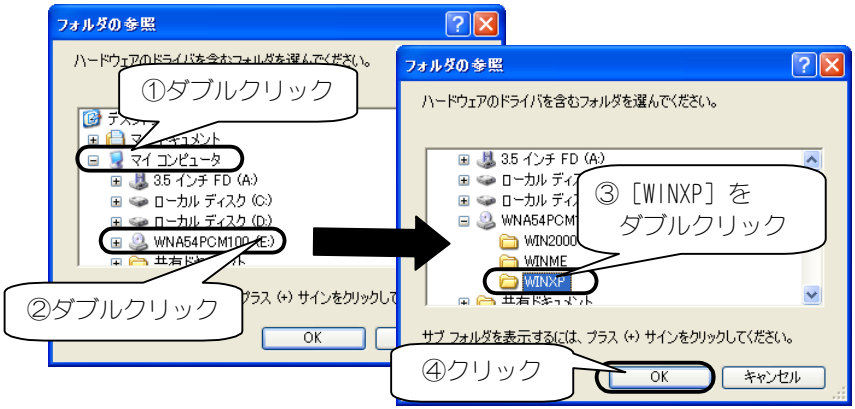


「サポートソフト」ディスク

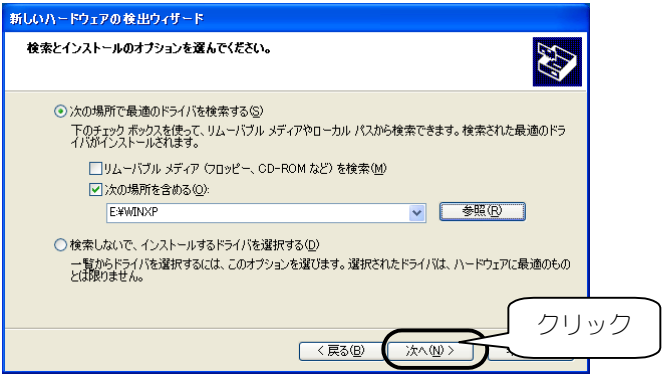
5 [次の場所で最適のドライバを検索する]をチェック後、[次の場所を含める]のみをチェックして(その他の項目のチェックは外してください)、[参照]ボタンをクリックします。



6 [マイコンピュータ]→CD-ROMドライブ→[WINXP]を順にダブルクリック後、[OK]ボタンをクリックします。

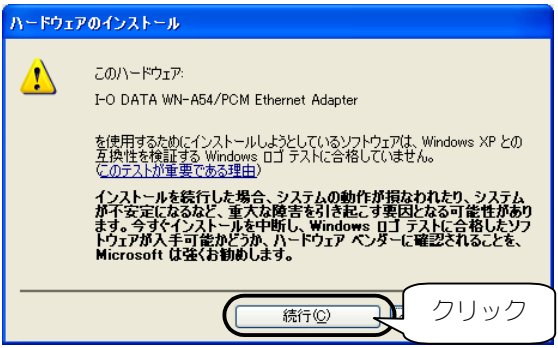


7 [次へ]ボタンをクリックします。



8 [続行]ボタンをクリックします。

ボタンをクリック後、ファイルのコピーを開始します。



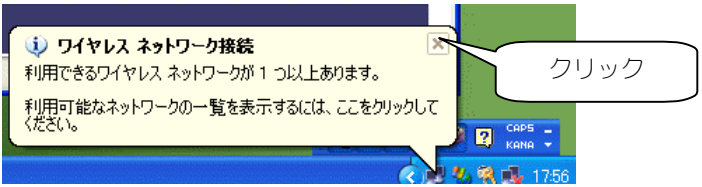
参考

弊社製ソフトウェアが確認された時点で、マイクロソフトが認証するソフトウェアでは無いというメッセージが表示されますが、そのまま続行します。(特に問題ありません。)
→マイクロソフト社は WHQL という組織において、パソコン本体や周辺機器などを対象とした認定手続きを実施しております。
このたびお買い上げ頂いた製品は現時点では認定を受けておりません。

9 しばらくして以下の画面が表示されたら、
[完了]ボタンをクリックします。



10 自動的に接続可能なワイヤレスネットワークが検索されてきますが、以下の画面の「×」をクリックしてください。
⇒ふきだしを閉じます。



引き続き、本製品の設定ユーティリティをインストールします。
25ページへお進みください。

3. Windows 2000で使う

ここでは、Windows 2000でのインストール手順について説明します。



注意！

パソコンへ Windows 2000 をインストールする、もしくは、OS を Windows 2000 にアップグレードにてインストールする際には、本製品を取り外した状態で行ってください。
Windows 2000 のインストール完了後、パソコンの電源を切り、再度本製品を取り付けてから行ってください。

用意するもの

・「サポートソフト」ディスク



注意！

・PC カードスロットが1つのみのパソコンで、PC カード接続の CD-ROM ドライブをお使いの方は、インストール時に CD-ROM ドライブが使えません。
本製品を接続する前に、4ページの手順で「サポートソフト」ディスクの内容をハードディスクにコピーしてください。
次ページ以降では、サポートソフトディスクの挿入は不要となります。また、17 ページの手順 *5* で指定するフォルダは、コピーしたフォルダ内の[WIN2000]フォルダを指定してください。
・パソコンに CD-ROM ドライブが無い場合は、5ページを参照してください。
次ページ以降では、サポートソフトディスクの挿入は不要となります。
また、17 ページの手順 *8* で指定するフォルダは、展開したフォルダ内の[WIN2000]フォルダを指定してください。

インストール

1 本製品をパソコンのPCカードスロットに挿入します。

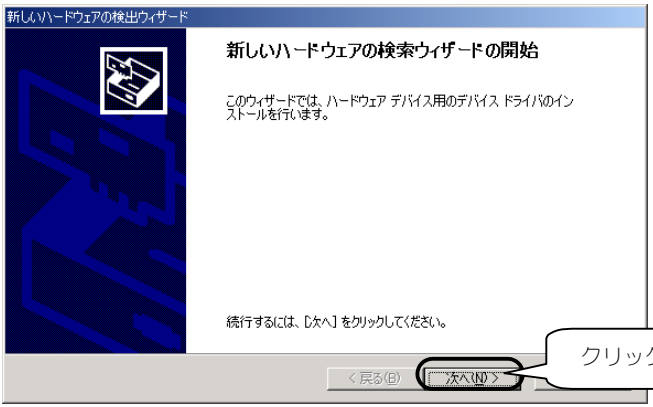


注意！

PC カードスロットが上下に 2 つある機種をお使いの場合は、本製品を必ず上の PC カードスロットに挿入してください。

2 Windows 2000を起動します。
※Administrator権限でログインしてください。

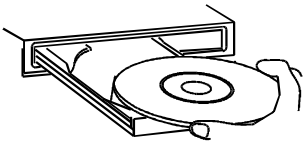
3 しばらくして、以下の画面が表示されますので、[次へ]ボタンをクリックします。



このインストール画面が表示されない場合は…

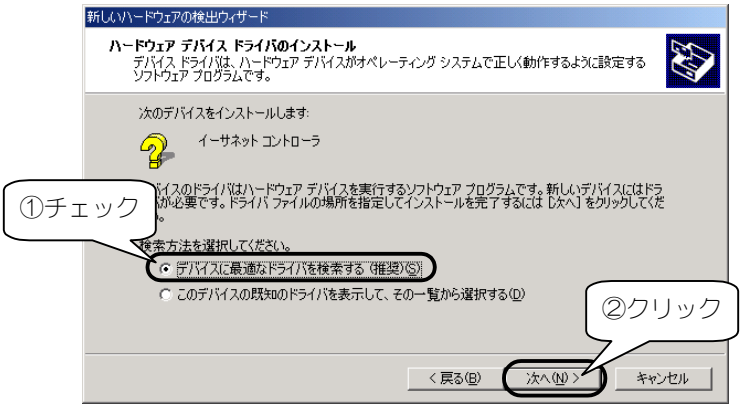
【困ったときには】の 113 ページをご参照ください。

4 サポートソフトをCD-ROMドライブにセットします。

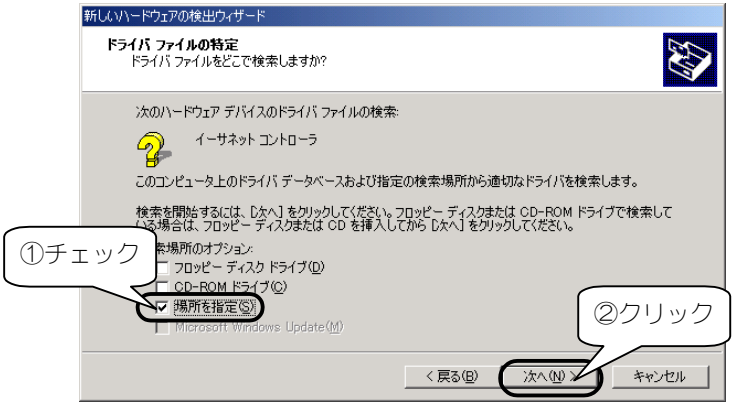


「サポートソフト」ディスク

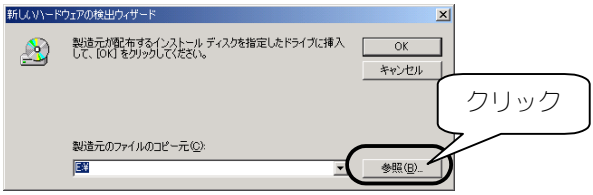
5 [デバイスに最適なドライバを検索する]をチェックして、[次へ]ボタンをクリックします。



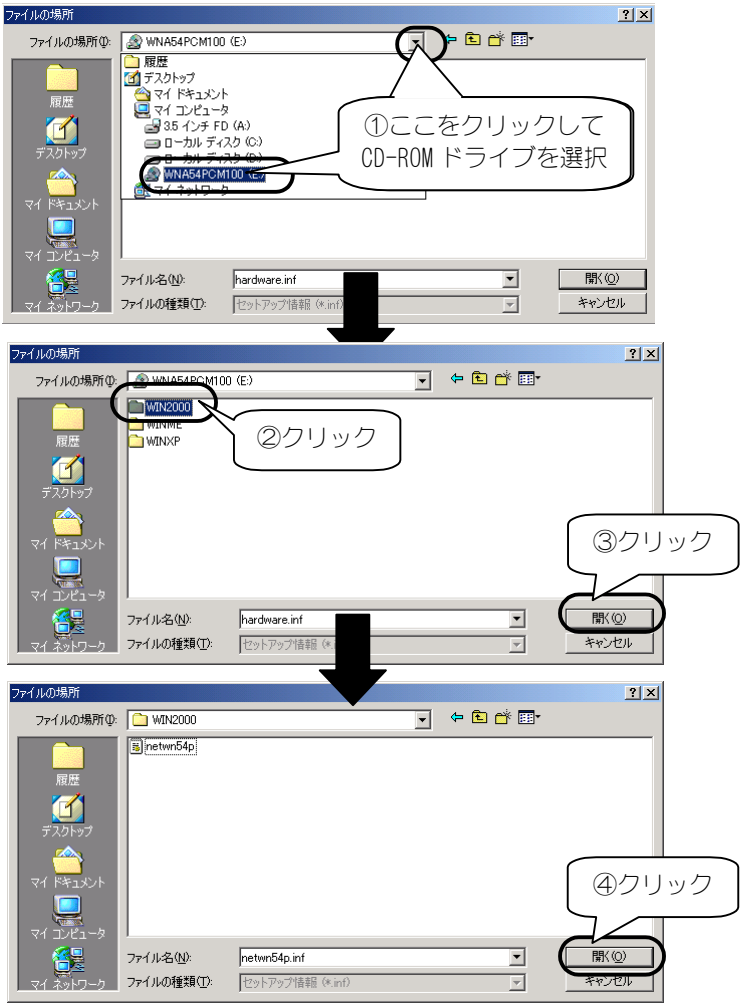
6 [場所を指定]のみをチェックして、[次へ]ボタンをクリックします。



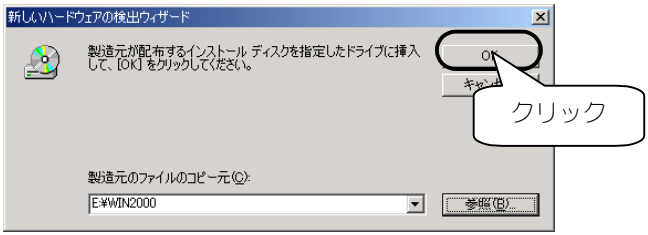
7 [参照]ボタンをクリックします。



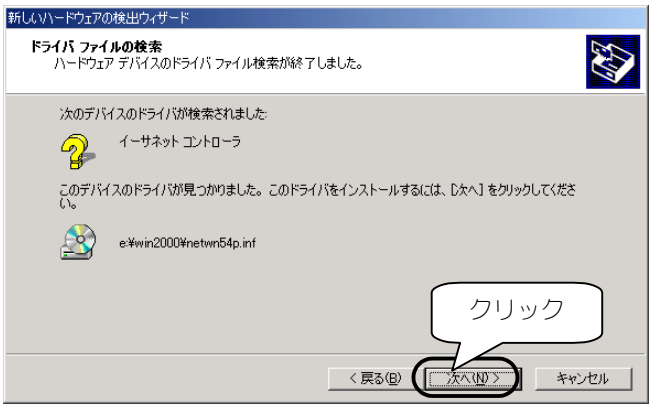
8 CD-ROMドライブの[WIN2000]フォルダを指定します。



9 [OK]ボタンをクリックします。

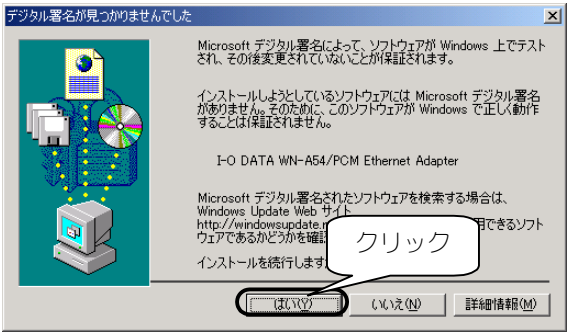


10 [次へ]ボタンをクリックします。



11 [はい]ボタンをクリックします。

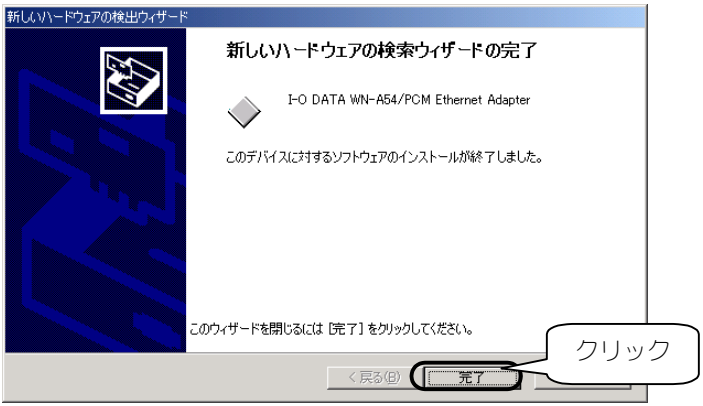
ボタンをクリック後、ファイルのコピーを開始します。



参考

弊社製ソフトウェアが確認された時点で、マイクロソフトが認証するソフトウェアでは無いというメッセージが表示されますが、そのまま続行します。（特に問題ありません。）
→マイクロソフト社は WHQL という組織において、パソコン本体や周辺機器などを対象とした認定手続きを実施しております。
このたびお買い上げ頂いた製品は現時点では認定を受けておりません。

12 しばらくして以下の画面が表示されたら、
[完了]ボタンをクリックします。



引き続き、本製品の設定ユーティリティをインストールします。
25ページへお進みください。

4. Windows Meで使う

ここでは、Windows Meでのインストール手順について説明します。



注意！

パソコンへ Windows Me をインストールする、もしくは、OS を Windows Me にアップグレードにてインストールする際には、本製品を取り外した状態で行ってください。
Windows Me のインストール完了後、パソコンの電源を切り、再度本製品を取り付けてから行ってください。

用意するもの

・「サポートソフト」ディスク



注意！

・PC カードスロットが1つのみのパソコンで、PC カード接続の CD-ROM ドライブをお使いの方は、インストール時に CD-ROM ドライブが使えません。
本製品を接続する前に、4ページの手順で「サポートソフト」ディスクの内容をハードディスクにコピーしてください。
次ページ以降では、サポートソフトディスクの挿入は不要となります。また、22 ページの手順 6 で指定するフォルダは、コピーしたフォルダ内の[WINME]フォルダを指定してください。
・パソコンに CD-ROM ドライブが無い場合は、5ページを参照してください。
次ページ以降では、サポートソフトディスクの挿入は不要となります。
また、22 ページの手順 6 で指定するフォルダは、展開したフォルダ内の[WINME]フォルダを指定してください。

インストール

1 本製品をパソコンのPCカードスロットに挿入します。

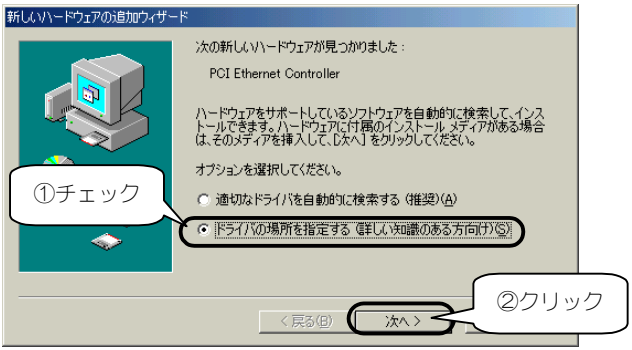


注意！

PC カードスロットが上下に 2 つある機種をお使いの場合は、本製品を必ず上の PC カードスロットに挿入してください。

2 Windows Meを起動します。

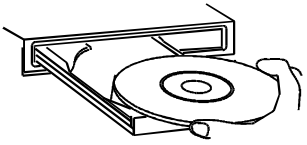
3 しばらくして、以下の画面が表示されますので、[ドライバの場所を指定する]をチェックして、[次へ]ボタンをクリックします。



このインストール画面が表示されない場合は…

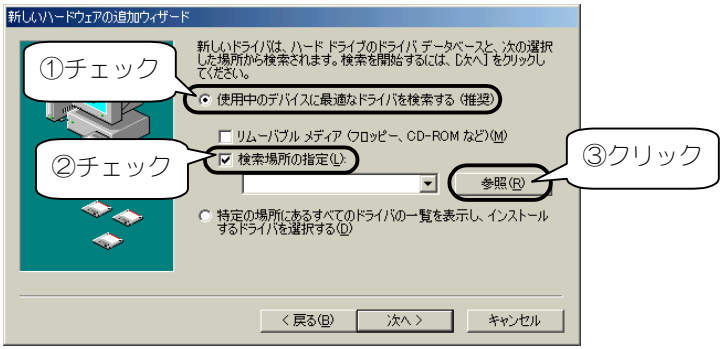
【困ったときには】の 113 ページをご参照ください。

4 サポートソフトをCD-ROMドライブにセットします。

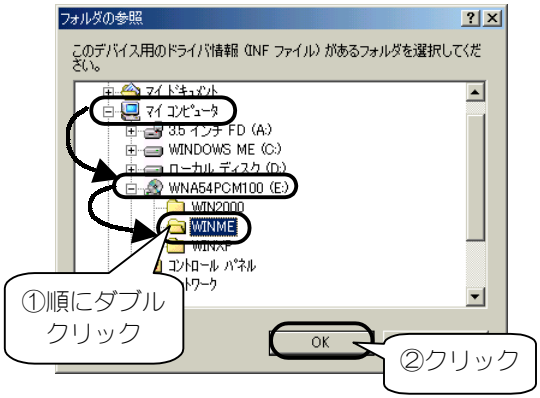


「サポートソフト」ディスク

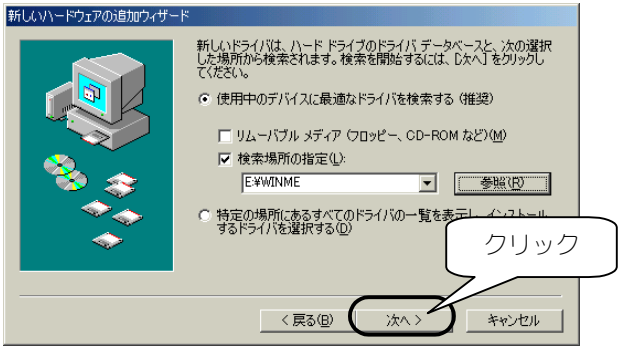
5 [使用中のデバイスに最適なドライバを検索する]をチェック後、[検索場所の指定]のみをチェックして、[参照]ボタンをクリックします。



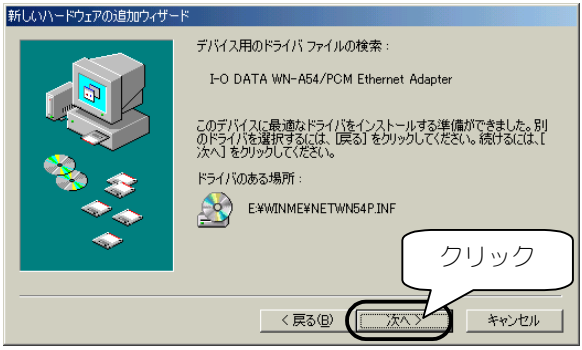
6 CD-ROMドライブの[WINME]フォルダを指定して、[OK]ボタンをクリックします。



7 [次へ]ボタンをクリックします。



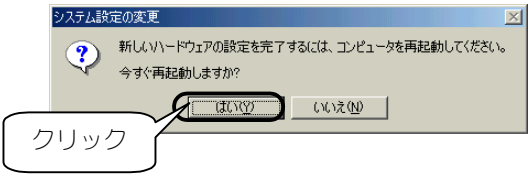
8 [次へ]ボタンをクリックします。



9 しばらくして以下の画面が表示されたら、
[完了]ボタンをクリックします。



10 [はい]ボタンをクリックします。
本製品を取り付けたまま、パソコンを再起動してください。



引き続き、本製品の設定ユーティリティをインストールします。
次ページへお進みください。

5. 設定ユーティリティのインストール

ここでは設定ユーティリティをインストールします。

1 [Setup]（または[Setup.exe]）アイコン  を起動します。

・Windows XPの場合

①[スタート]→[マイコンピュータ]を順にクリックします。

②CD-ROMドライブ（WNA54PCMxxx）をダブルクリックします。

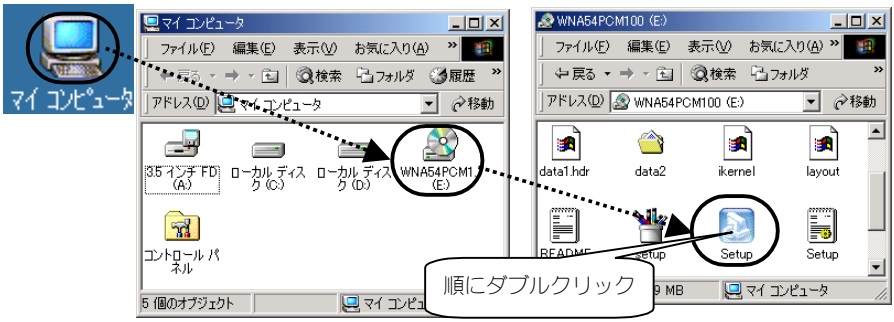
※“xxx”はバージョンです。

③[Setup]（または[Setup.exe]）アイコンをダブルクリックします。



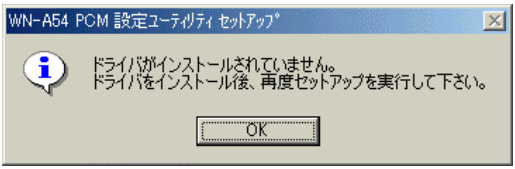
・Windows 2000/Meの場合

[マイコンピュータ]アイコン→CD-ROMドライブアイコン→[Setup]（または[Setup.exe]）アイコンを順にダブルクリックします。



注意！

以下の画面が表示された場合は…

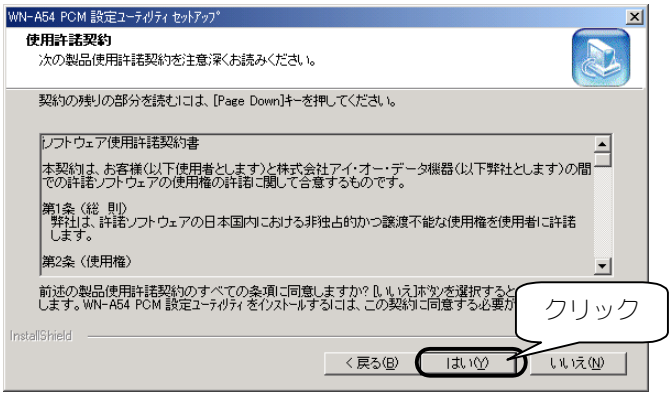


→ドライバのインストールを完了していない場合は、この章のはじめからご覧になり、インストールを完了しておいてください。
ドライバのインストールを完了している場合は、ドライバが正常に認識されていない可能性があります。【インストール状態を確認する】(82 ページ)で本製品が正常に認識されていることを確認の上、【困った時には】の 111 ページをご覧ください。

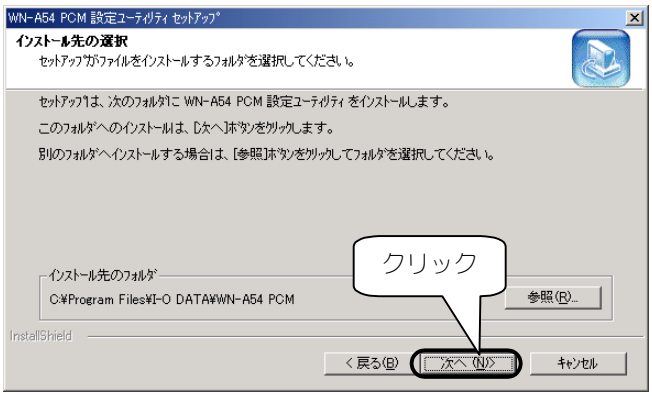
2 しばらくして、以下に画面が表示されますので、
[次へ]ボタンをクリックします。



3 **使用許諾契約を最後までお読みください。**
同意する場合は、[はい]ボタンをクリックします。
同意しない場合は、インストールを完了できません。



4 **[次へ]ボタンをクリックします。**
インストール先を変更する場合は、[参照]ボタンをクリックして任意のインストール先を指定してください。



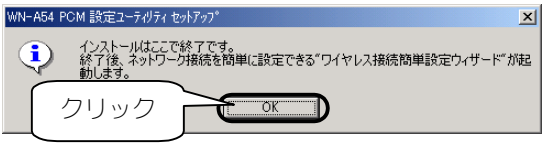
5 ［完了］ボタンをクリックします。



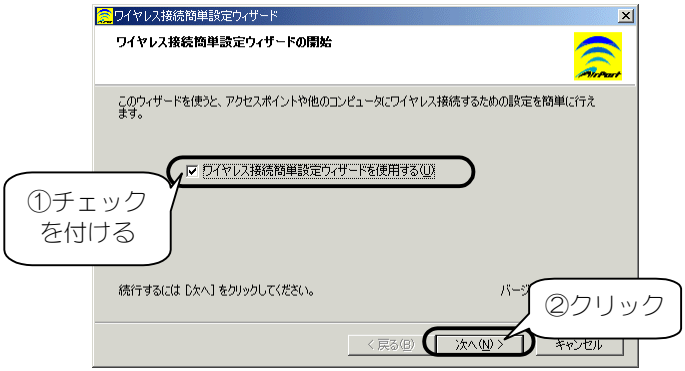
⇒Windows XPの場合は、ここでインストール完了です。
【第3章　使ってみる】（39ページ）へお進みください。

⇒Windows 2000/Meの場合は、手順**6**へお進みください。

6 [OK]ボタンをクリックします。

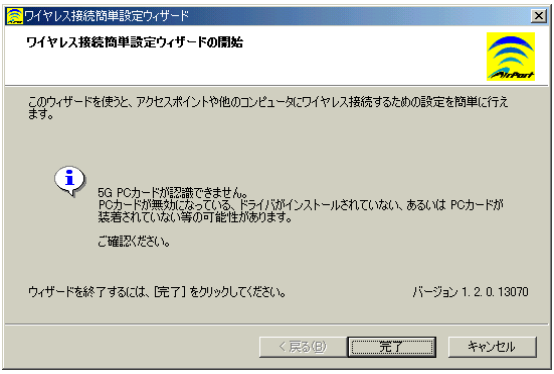


7 [ワイヤレス接続簡単設定ウィザードを使用する]のチェックを付けて[次へ]ボタンをクリックします。



注意！

以下の画面が表示された場合は…



→上記の画面が表示された場合は、【本製品を削除する(アンインストール)】(94 ページ)で【ユーティリティの削除】を行ってください。その後、【困った時には】の 111 ページをご覧ください。



参考

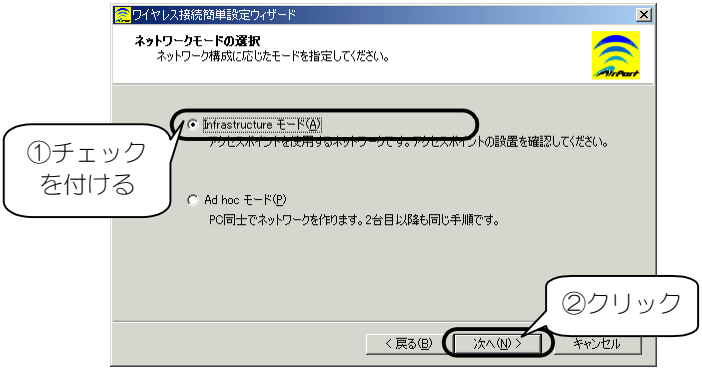
ワイヤレス接続簡単設定ウィザードを使用せずに設定ユーティリティより
アクセスポイントとの接続設定をすることも可能です。
【第3章　使ってみる】(39 ページ)を参照してください。

⇒アクセスポイントと通信する場合「Infrastructureモード」は、
次ページへお進みください。

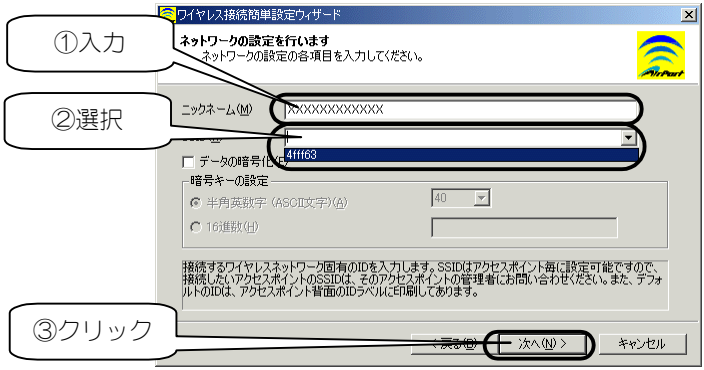
⇒無線LANアダプタのみで通信する場合「Ad hocモード」は、
37ページへお進みください。

Infrastructureモード

8 [Infrastructureモード]が選択されていることを確認し、[次へ]ボタンをクリックします。



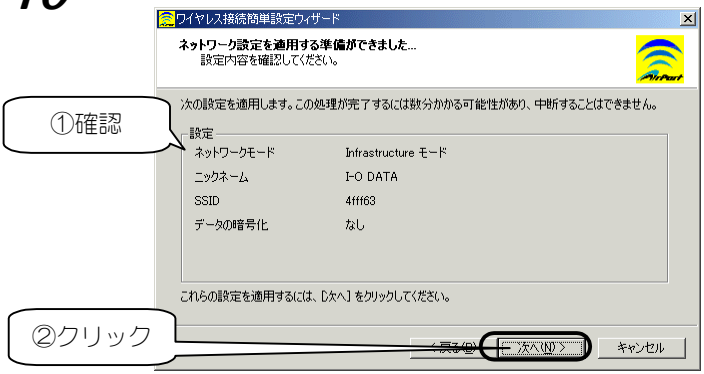
9 [ニックネーム]に任意の文字列を入力します。
[SSID]ではプルダウンメニューを開くと接続可能なアクセスポイントのSSIDが選択肢として表示されますので、表示されてきたSSIDを選択し、[次へ]をクリックします。



参考

すでにアクセスポイントが設定済で暗号化が行われている場合は、[データの暗号化]にて暗号化の設定をします。

10 設定内容を確認して[次へ]をクリックします。



11 以下の画面が表示されアクセスポイントへの接続作業を行います。

この作業は数分かかります。アクセスポイントと接続すると「アクセスポイントとの接続に成功しました」という画面が表示されます。

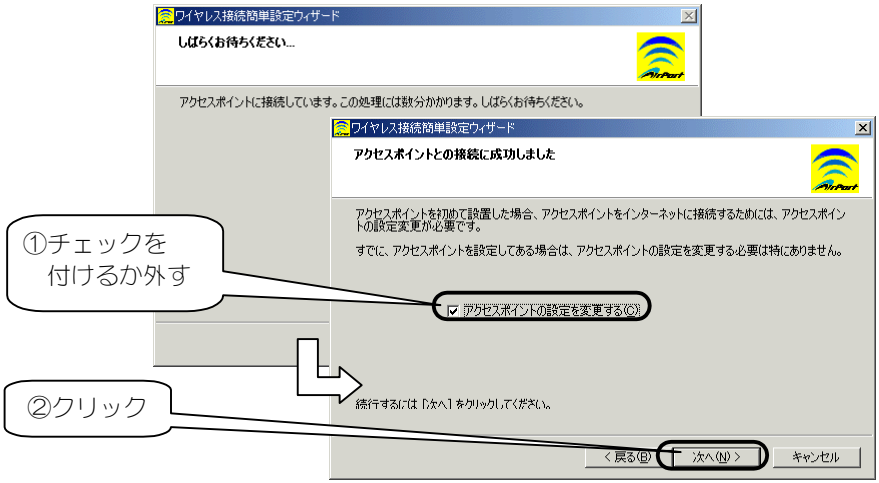
このあと…

⇒アクセスポイントの設定を行う場合

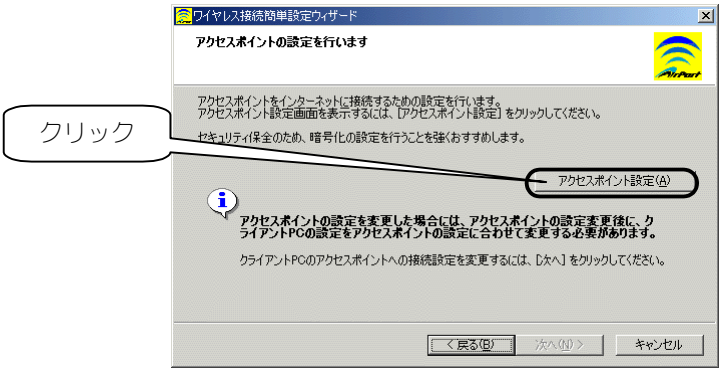
[アクセスポイントの設定を変更する]へチェックを入れて、[次へ]をクリックします。引き続き手順*12*へお進みください。

⇒アクセスポイントの設定を行わない場合（２台目以降の無線LANアダプタの設定等）

[アクセスポイントの設定を変更する]のチェックを外し[次へ]をクリックします。引き続き手順*17*へお進みください。



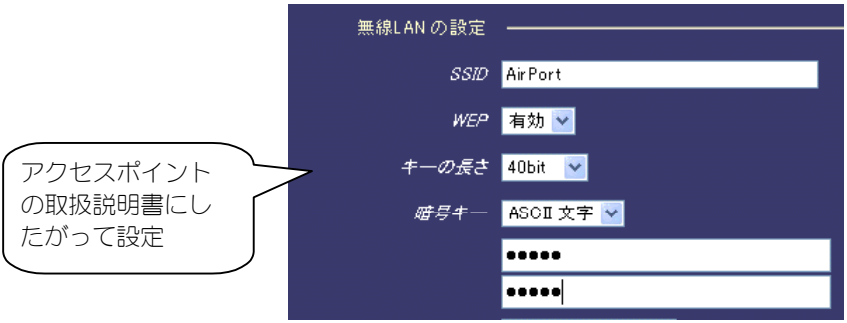
12 [アクセスポイント設定]をクリックします。



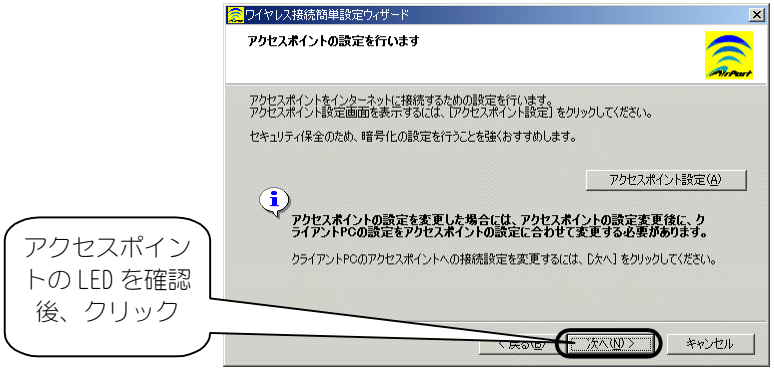
13 WEBブラウザが起動し、アクセスポイントの設定画面が表示されますので、アクセスポイントの取扱説明書をご覧になり設定を行ってください。

ここでは、アクセスポイントの無線設定を以下のように変更した所の一例です。

SSID：MACアドレス下6桁(工場出荷時設定)　→　AirPort
暗号化：無効　→　有効
キーの長さ：40bit　→　40bit
暗号キー：ASCII文字　→　ASCII文字　PLANT



14 アクセスポイント設定後はアクセスポイントが一度再起動します。アクセスポイントの[MESSAGE]LEDが点滅から消灯へ変わったことを確認して[次へ]をクリックします。



15 各項目を設定し、[次へ]をクリックします。

①[ニックネーム]に任意の文字列を入力します。

手順9と同じであることを推奨します。（変更しても問題ありません。）

②[SSID]を選択します。

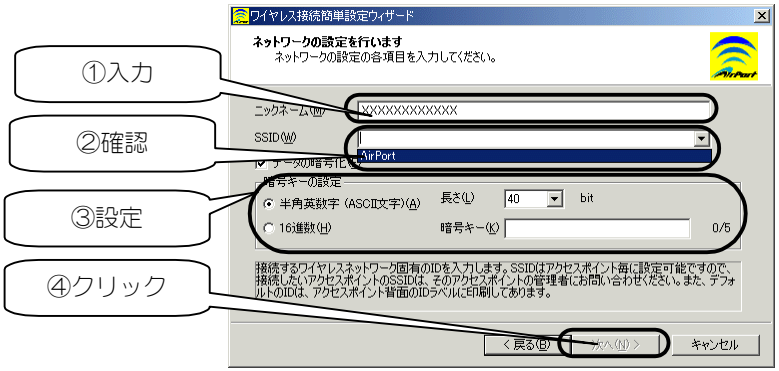
プルダウンメニューを開くと接続可能なアクセスポイントのSSIDが選択肢として表示されますので、13の手順で設定した値を選択します。

設定したSSIDが表示されてこない場合は、現在SSIDの項目に入力されているSSIDを削除した上で、プルダウンメニューを開き、設定変更後のSSIDが表示されないかご確認ください。

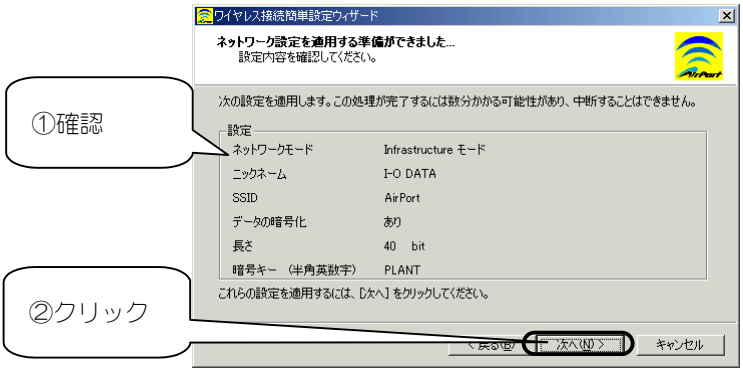
③暗号化が行われている場合は、[データの暗号化]にて暗号化の設定を行います。

13の手順で設定した暗号キーを設定します。

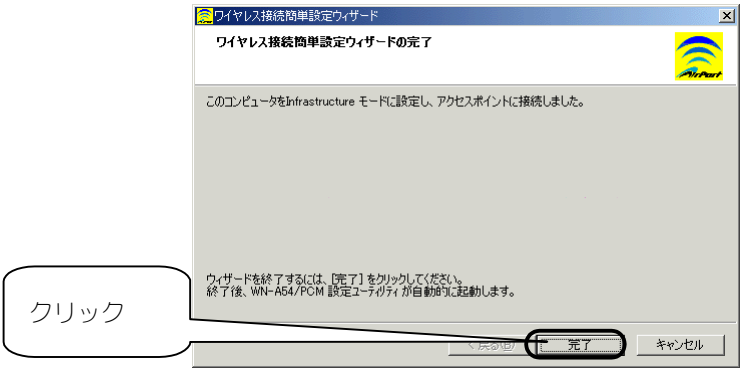
④[次へ]をクリックします。



16 設定内容が正しいことを確認して、[次へ]ボタンをクリックします。



17 アクセスポイントと接続すると「アクセスポイントとの接続に成功しました」という画面が表示されますので、[完了]をクリックしてください。

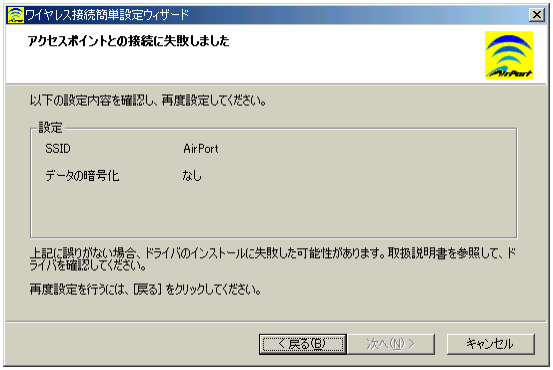


以上で、アクセスポイントの設定は完了です。

「アクセスポイントとの接続に失敗しました」と表示された！

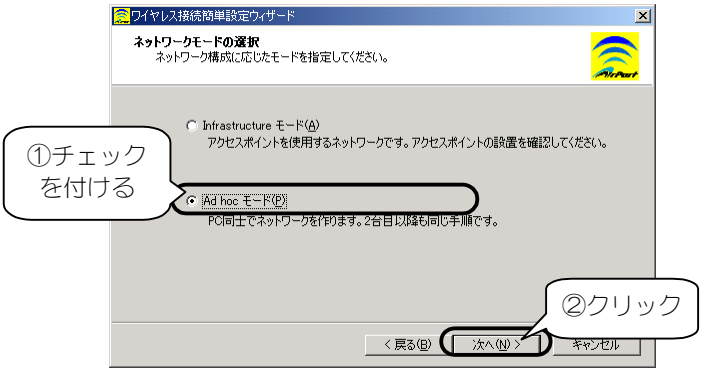
→設定項目に誤りがないかどうか確認して、入力ミスがあった場合は、[戻る]をクリックして再度、手順*15*へ戻り設定を行ってください。

▼「暗号化」の入力ミスをした場合の例



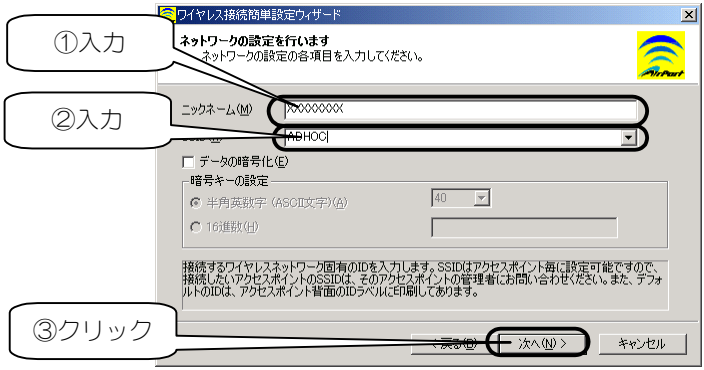
Ad hocモード

8 [Ad hocモード]が選択されていることを確認し、[次へ]ボタンをクリックします。

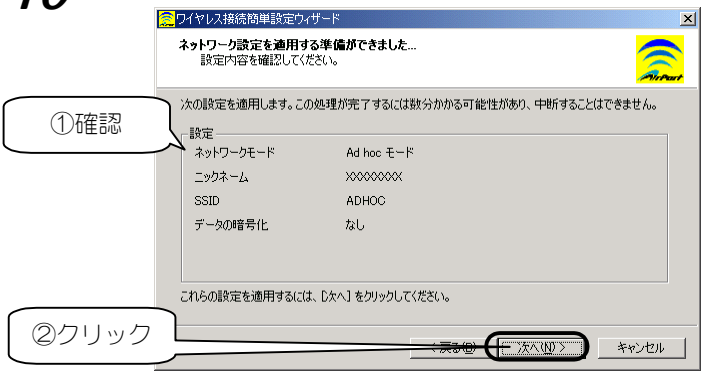


9 [ニックネーム]と[SSID]※に任意の文字列を入力し、[次へ]をクリックします。

※2台目以降の場合は、他で設定した[SSID]に合わせる必要があります。
（[Ad Hocモード]時は、通信するすべてのアダプタ同士ですべて同じ[SSID]に設定しておく必要があります。）

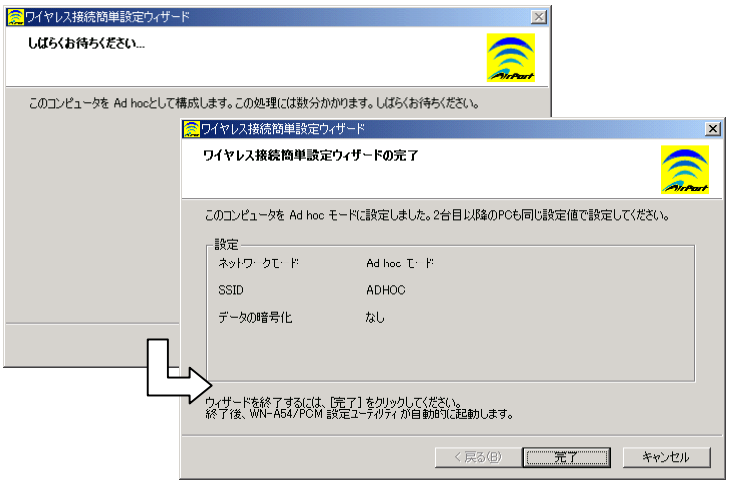


10 設定内容を確認して[次へ]をクリックします。



11 以下の画面が表示され、接続作業を行います。

この作業は数分かかります。
このあと、２台目以降の無線LANアダプタも同じ設定を行ってください。



以上で、Ad hocの設定は完了です。

第3章

使ってみる

この章では、添付のユーティリティを使用して、本製品を設定する方法について説明します。

アクセスポイントと通信する 40ﾍﾟｰｼﾞ

すでにネットワーク（有線LAN）に接続可能なアクセスポイントとの通信（[Infrastructure]モード）について説明します。

無線LANアダプタのみで通信する 53ﾍﾟｰｼﾞ

無線LANアダプタ同士（本製品同士を含む）で通信する際（[Ad hoc]モード）の設定について説明します。

通信を暗号化する 69ﾍﾟｰｼﾞ

通信時の暗号化の方法について説明します。

設定ユーティリティを使う 79ﾍﾟｰｼﾞ

設定ユーティリティについて説明します。

アクセスポイントと通信する

アクセスポイントと通信するには、アクセスポイントの電源を投入した状態でアクセスポイントの設置を行います。
はじめて設定を行う場合、ADSL モデムやケーブルモデムと接続をする必要はありません。
アクセスポイント側のインターネット接続に関しては本製品との無線接続が終了した後にアクセスポイント付属の取扱説明書を参照して設定を行ってください。



参考

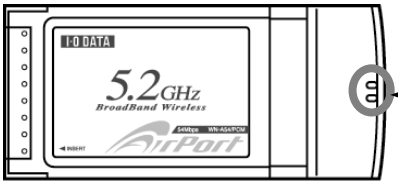
本手順は【5. 設定ユーティリティのインストール】(25 ページ)にて簡単設定ウィザードを使用しなかった場合に必要です。
ユーティリティより手動でアクセスポイントの接続設定を行う手順です。

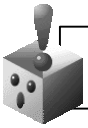
以下の必要なページをご覧ください。

・Windows XPで設定する	⇒ 次ページ参照
・Windows 2000/Meで設定する	⇒ 49ページ参照

Windows XPで設定する

1 本製品を装着したすべてのパソコンの電源を入れます。
本製品のランプが緑色に点滅するかを確認してください。





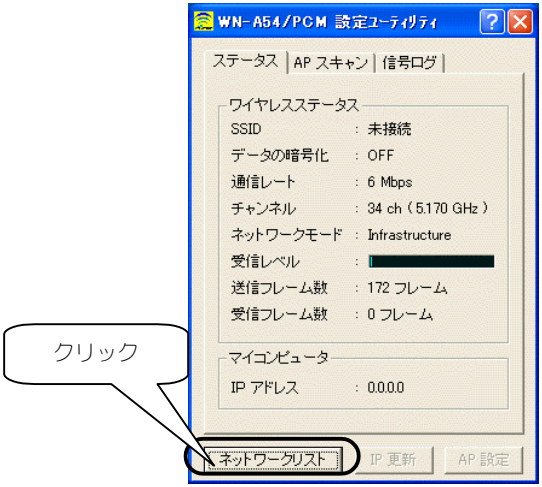
ランプが点滅しない場合は…

【困ったときには】の
P110 をご参照ください。

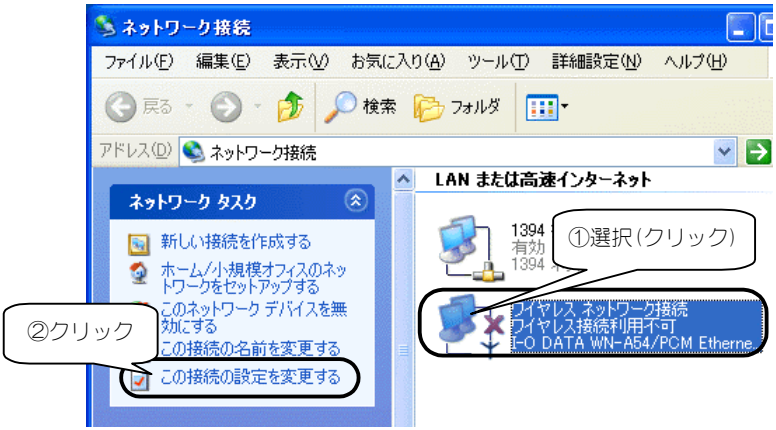
2 タスクバーのアイコンをダブルクリックして、ユーティリティを起動します。



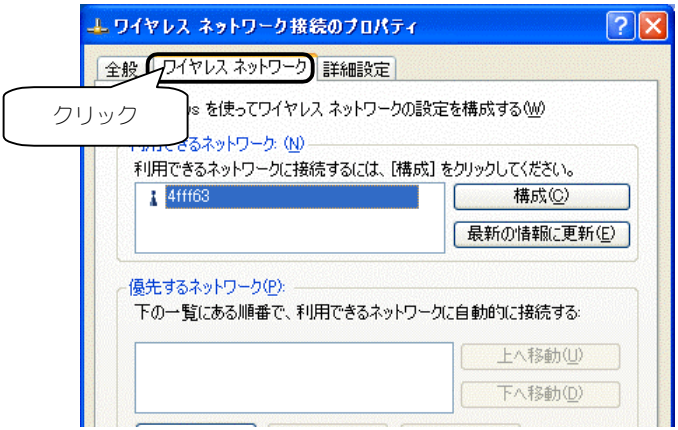
3 [ネットワークリスト]ボタンをクリックします。
⇒[ネットワーク接続]画面が表示されます。



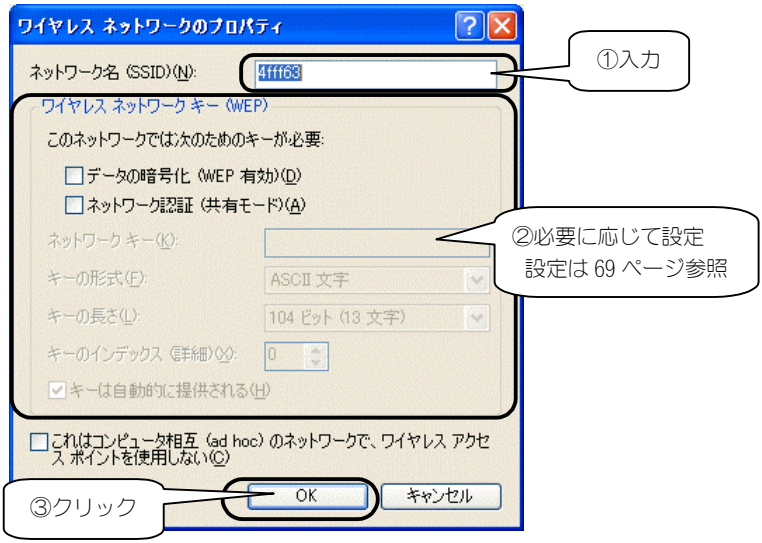
4 [ネットワーク接続]では、インストール済みの[ワイヤレスネットワーク接続]アイコンが表示されますのでアイコンを選択後、[この接続の設定を変更する]をクリックします。



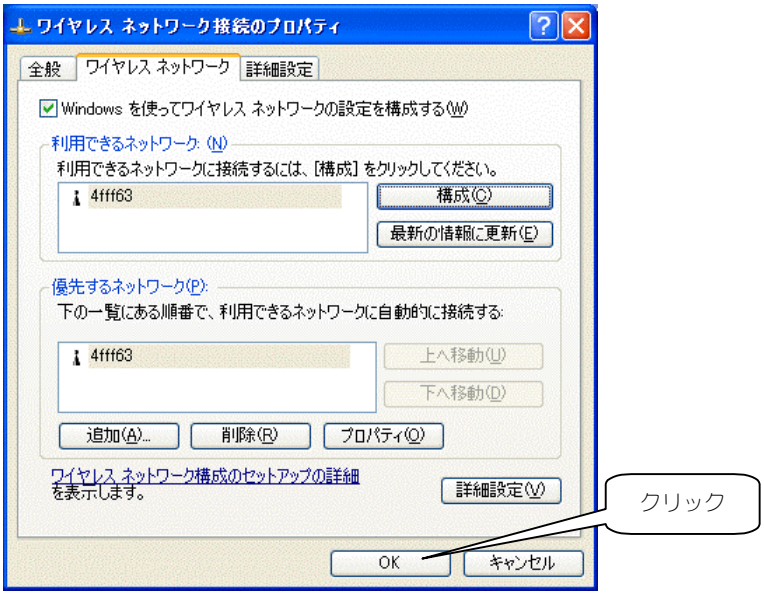
5 [ワイヤレスネットワークのプロパティ]を表示させます。
[ワイヤレスネットワーク]タブをクリックします。



6 [ワイヤレスネットワークのプロパティ]画面が表示されますのでSSIDを入力します。必要に応じて暗号化(WEP)の設定を行い[OK]ボタンをクリックします。



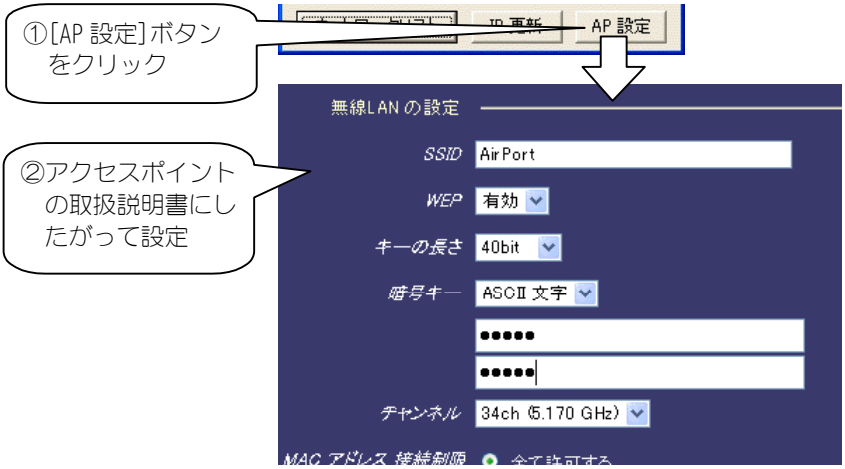
7 [ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ]へ戻りますので、[OK]ボタンをクリックします。



8 **設定ユーティリティの[AP設定]ボタンをクリックして、設定画面を開きます。**
アクセスポイントの設定画面が表示されますので、アクセスポイントの取扱説明書をご覧になり設定を行ってください。

ここでは、アクセスポイントの無線設定を以下のように変更したことを例に設定します。

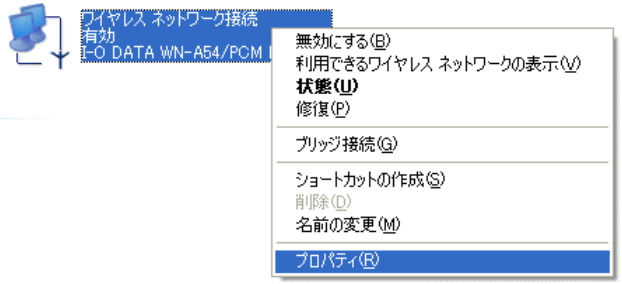
SSID：MACアドレス下6桁(工場出荷時設定) → AirPort
暗号化：無効 → 有効
キーの長さ：40bit → 40bit
暗号キー：ASCII文字 → ASCII文字 PLANT



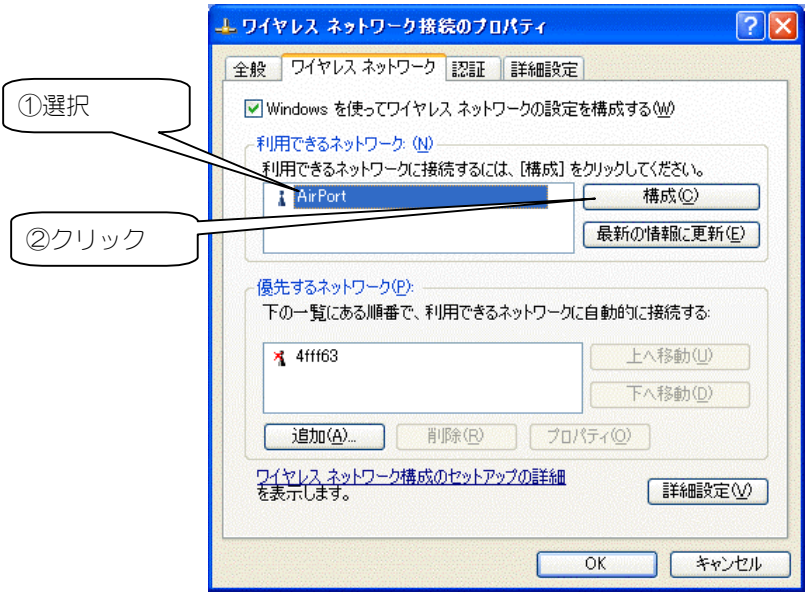
9 **アクセスポイントの無線設定を変更した場合は、本製品の無線設定も変更が必要です。ここでは8の手順で設定した例を元に設定変更を行います。**
[スタート]→[コントロールパネル]を開きます。

⇒[カテゴリの表示]の場合
[ネットワークとインターネット接続]→[ネットワーク接続]をクリックします。
⇒[クラッシック表示]の場合
[ネットワーク接続]をダブルクリックします。

10 [ワイヤレスネットワーク接続]を右クリックしてプロパティを選択します。



11 [ワイヤレスネットワーク]タブをクリックし、[利用できるネットワーク]に表示されたアクセスポイントを選択して[構成]をクリックします。

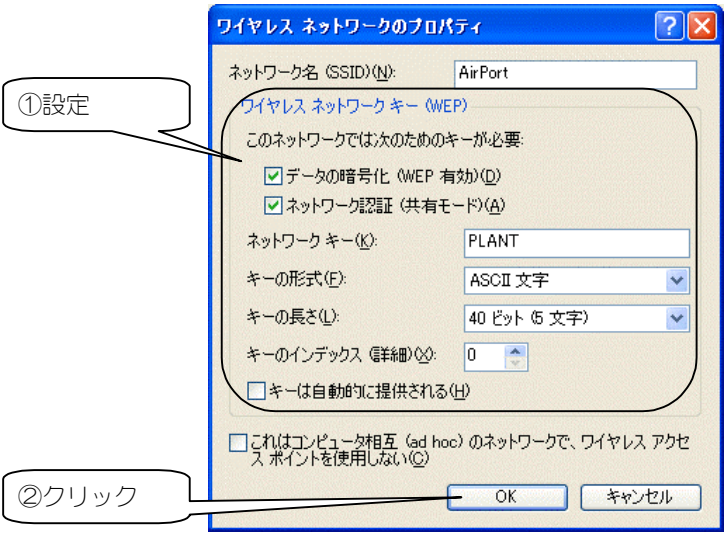


参考

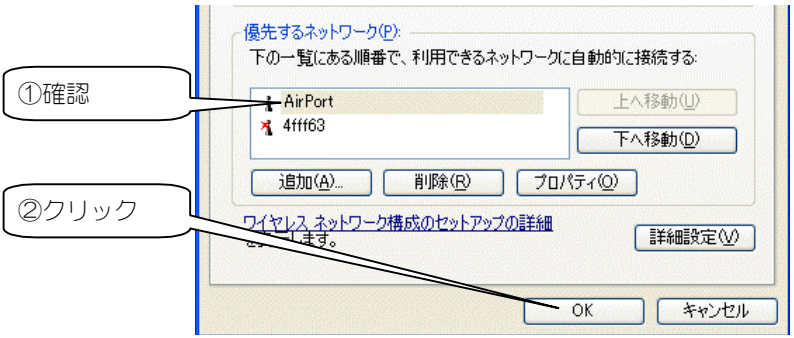
[利用できるネットワーク]に設定変更が行われたアクセスポイントが表示されていない場合は、[最新の情報に更新]ボタンをクリックすると表示されてきます。

12 [ワイヤレスネットワークのプロパティ]が表示されますのでアクセスポイントの無線設定に合わせてワイヤレスネットワークキー(暗号化)の設定を行います。
設定後[OK]をクリックします。

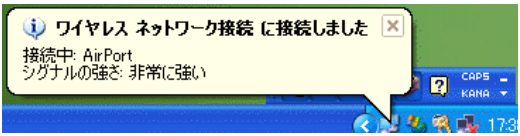
以下の画面例は**8**の手順の設定項目に合わせた無線設定となります。



13 [優先するネットワーク]にアクセスポイントのSSIDが表示されていることを確認して[OK]をクリックします。



14 「ワイヤレスネットワークに接続しました」と表示され、接続中のアクセスポイントのSSIDが「接続中：」へ表示されます。



参考

[ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ]画面では以前の設定のSSIDが[優先するネットワーク]欄に表示されたままとなりますが、必要が無い場合は選択して[削除]をクリックすることで削除が可能です。



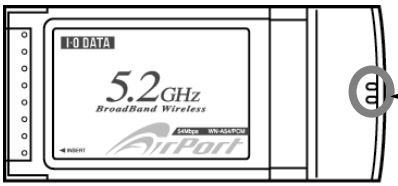
以上で、アクセスポイントの設定は完了です。

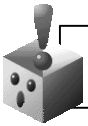
Windows 2000/Meで設定する

※画面はWindows 2000のものです。

1 本製品を装着して、パソコンの電源を入れます。

本製品のランプが緑色に点滅するかを確認してください。





ランプが点滅しない場合は…

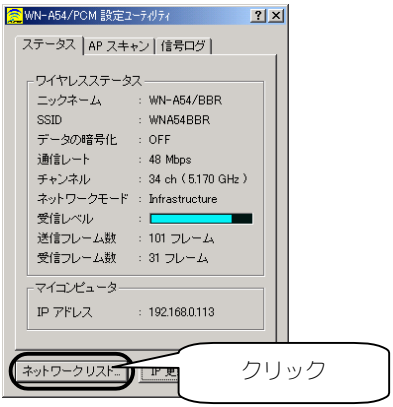
【困ったときには】の
110 ページ
をご参照ください。

2 タスクトレイ(画面右下)のアイコンをダブルクリックして、ユーティリティの設定画面を表示させます。



3 [ネットワークリスト]ボタンをクリックします。

⇒[ネットワークリスト]画面が表示されます。



4 [追加]ボタンをクリックします。

⇒[ワイヤレスネットワークの登録]画面が表示されます。



5 アクセスポイント側の設定に合わせて各項目を設定します。

≪工場出荷時（未設定）のアクセスポイントと接続する場合≫

①ニックネームに任意の名前を入力します。

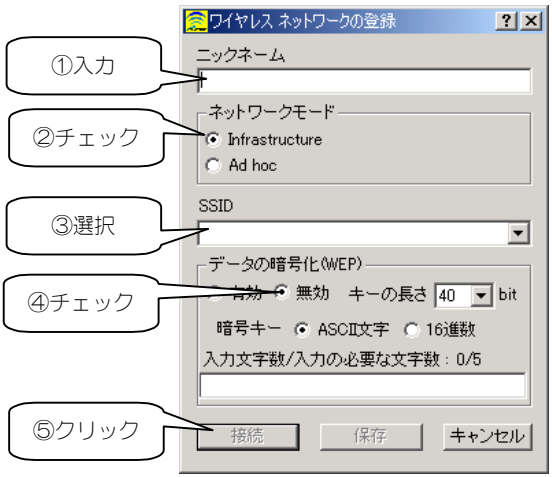
②Infrastructureにチェックを付けます。

③プルダウンメニューを開くと接続可能なアクセスポイントのSSIDが表示されますので選択します。

※SSIDは各機器毎に異なります。

④暗号化無効にチェックを付けます。

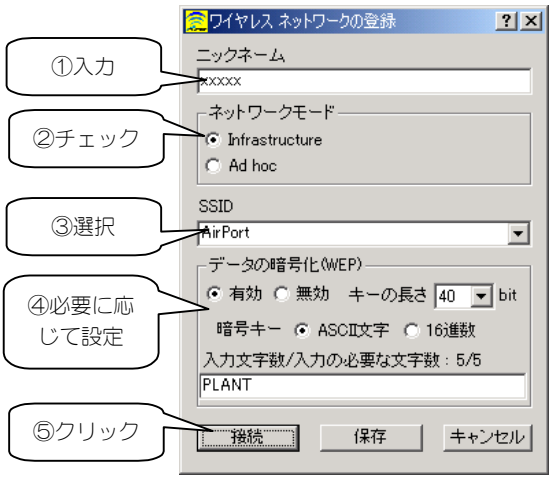
⑤[接続]ボタンクリックします。



≪設定済のアクセスポイントと接続する場合≫
ここでは以下の設定のアクセスポイントと無線通信することを例に説明します。

・アクセスポイントの設定例
SSID：AirPort
暗号化：有効
キーの長さ：40bit
暗号キー：ASCII文字
入力文字：PLANT

①ニックネームに任意の名前を入力します。
②Infrastructureにチェックを付けます。
③プルダウンメニューを開くと接続可能なアクセスポイントのSSIDが表示されますので選択します。
（例では「AirPort」を選択）
④「データの暗号化（WEP）」を必要に応じて設定します。
⑤[接続]ボタンクリックします。



参考

暗号化の詳細は【通信を暗号化する】(69 ページ)を参照してください。

6 [WN-A54/PCM設定ユーティリティ]の画面へ戻るので、右上の[×]ボタンを押して画面を閉じます。

7 タスクトレイのアイコンが電波を受信した状態に変化することを確認してください。



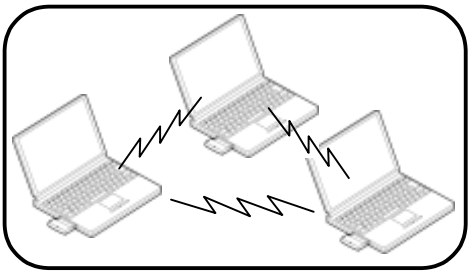
参考

受信レベルなどにより、以下のようにアイコンが変化します。

アイコン	内容
	非常に強い
	強い
	普通
	やや弱い
	弱い
（黄色）	通信圏外
（赤色）	カード非装着（赤色） 本製品が正しく認識されていない、または無効になっている。
	Ad hocモードで通信中

無線LANアダプタのみで通信する

ここでは、無線LANアダプタ（本製品）同士で通信する場合（［Ad hoc］モード）での手順について説明します。
無線LANアダプタ同士で通信する場合、必要なプロトコルを設定し、ワークグループ名を同一にする必要があります。
ここでは、必要なプロトコルと、ワークグループ名の設定と、また、互いのパソコン（のフォルダ）にアクセスするための共有の設定についても説明します。



すべてのパソコンで必要な設定
・プロトコルを設定する
・ワークグループ名を同一にする
・共有を設定する

・Windows XPの場合　⇒ 次ページの【Windows XPの場合の設定】参照
・Windows 2000の場合　⇒ 59ページの【Windows 2000の場合の設定】参照
・Windows Meの場合　⇒ 64ページの【Windows Meの場合の設定】参照

注意！

複数の無線 LAN がある場合は、それぞれのネットワークで別々の通信チャンネルの値を設定してください。
通信チャンネルの値が他の無線 LAN と重なると、他の無線 LAN に通信の内容が流れる、あるいは他の無線 LAN の通信が来てしまいます。
そのために起こったトラブルに対しては弊社は一切責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

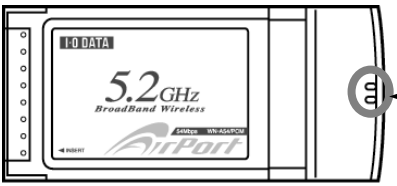
参考

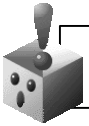
共有を設定すれば…

自分のパソコンのドライブやフォルダ等を共有設定すれば、同一ワークグループ上の他のパソコンからアクセスできるようになるため、マウス操作（マウスのドラッグアンドドロップ）で簡単にデータのやりとりができるようになります。

Windows XPの場合の設定

1 本製品を装着したすべてのパソコンの電源を入れます。
本製品のランプが緑色に点滅するかを確認してください。



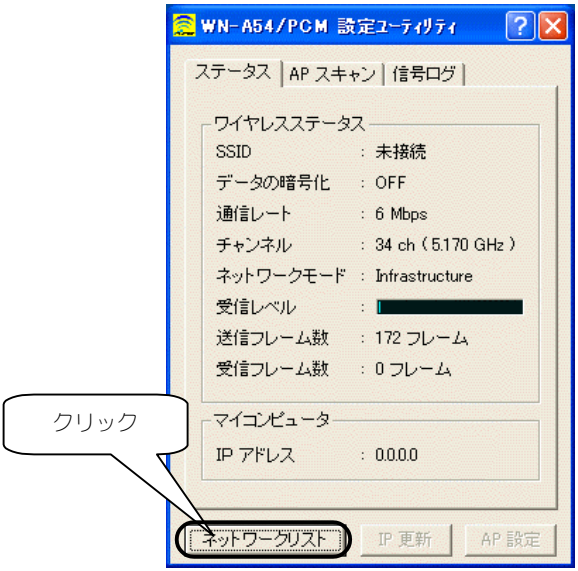


ランプが点滅しない場合は…

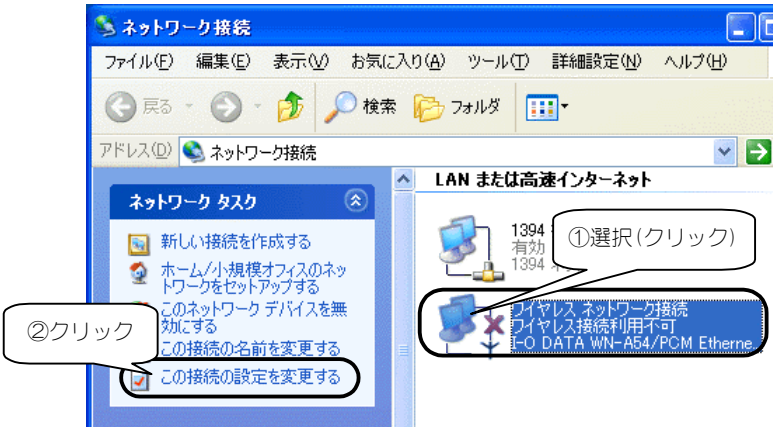
【困ったときには】の
110 ページ
をご参照ください。

2 ユーティリティを起動します。
【ユーティリティ画面の起動】73ページをご覧ください。

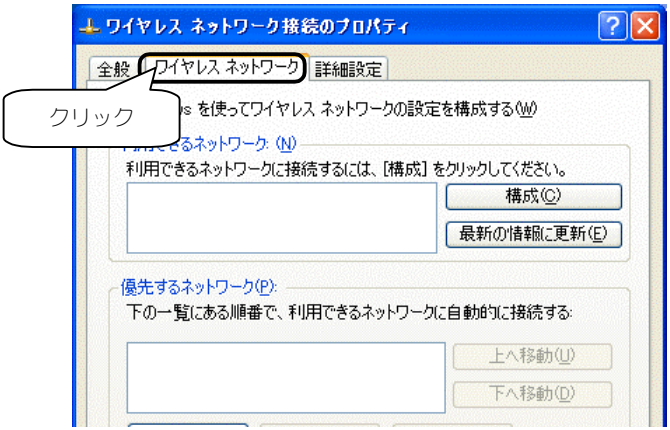
3 [ネットワークリスト]ボタンをクリックします。
⇒[ネットワーク接続]画面が表示されます。



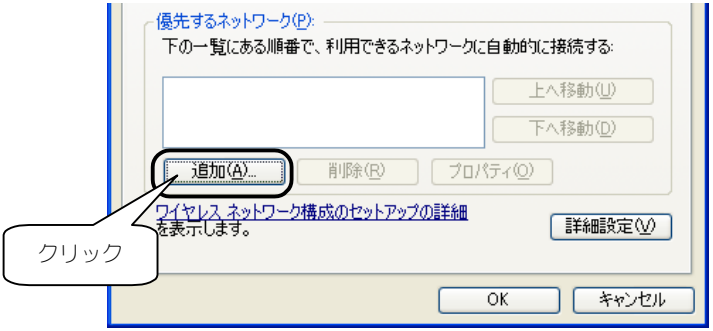
4 [ネットワーク接続]では、インストール済みの[ワイヤレスネットワーク接続]アイコンが表示されますのでアイコンを選択後、[この接続の設定を変更する]をクリックします。



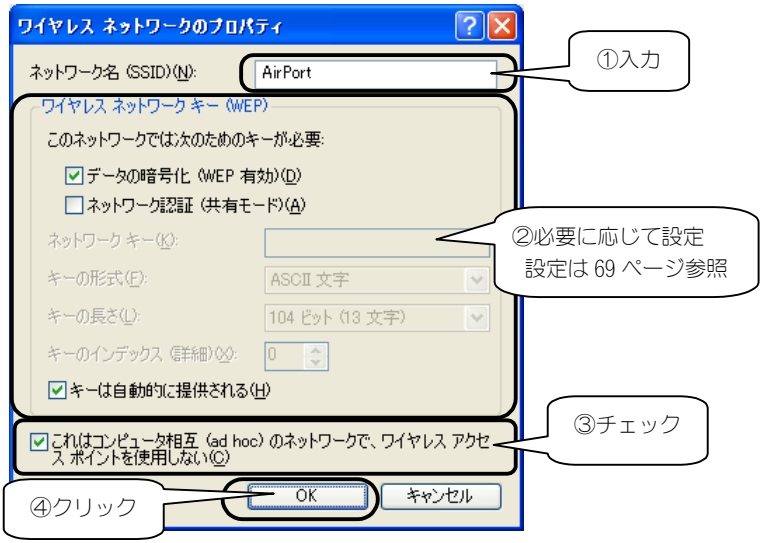
5 [ワイヤレスネットワークのプロパティ]を表示させます。
[ワイヤレスネットワーク]タブをクリックします。



6 [優先するネットワーク]の[追加]ボタンをクリックします。



7 [ワイヤレスネットワークのプロパティ]画面が表示されますのでSSIDを入力します。必要に応じて暗号化(WEP)の設定を行い[OK]ボタンをクリックします。



8 しばらくお待ちください。

設定ユーティリティがIPアドレスを設定しています。
約2分ほどお待ちください。

9 [詳細設定]メニューの[ネットワークID]をクリックします。

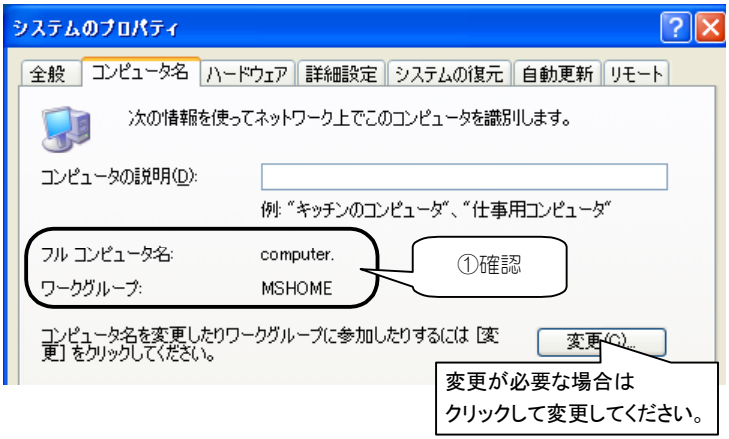


10 [フル コンピュータ名]と[ワークグループ]が
以下となっていることを確認してください。

フル コンピュータ名	ネットワーク上のそれぞれのパソコンを識別するための名前。（それぞれのパソコンで別々な固有の名前を設定します。）※
ワークグループ	ネットワーク上でグループ分けするための名前。（同じグループではすべて同じグループ名を指定します。）※ 本製品を使って接続する同一ネットワーク上のすべてのパソコンで同じものを指定してください。

※相手のコンピュータが見えない等のトラブルを未然に防ぐため、半角英数字の使用をおすすめします。

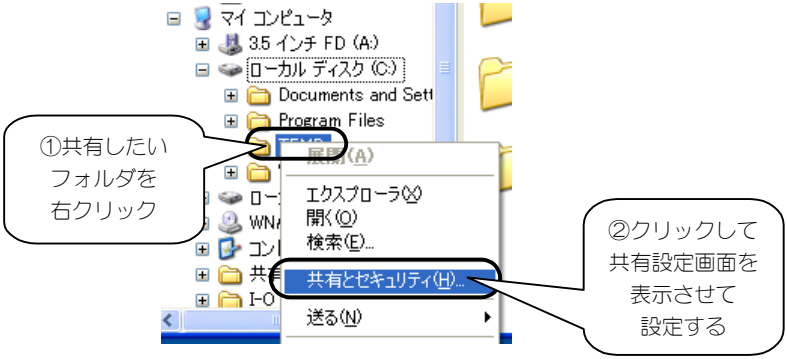
変更が必要な場合は、
[変更]ボタンをクリックして、変更してください。



11 このパソコンにあるドライブやフォルダあるいはプリンタをネットワーク上の別のパソコンで使いたい（共有したい）場合は、共有の設定をします。

詳細はWindows XPのヘルプを参照してください。

例：エクスプローラ上からの共有の設定



12 後は、[マイネットワーク]→[近くのコンピュータ]を順にダブルクリックすれば、本製品を装着した他のコンピュータ名や共有したフォルダ名等が表示されます。



以上で、本製品同士で通信する場合（Ad hocモード）での設定は終了です。

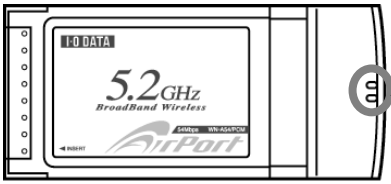


注意！

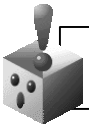
弊社では、本製品が正しく動作し、ファイルやプリンタの共有が確認できるまでをサポート範囲としております。

Windows 2000の場合の設定

1 本製品を装着したすべてのパソコンの電源を入れます。
本製品のランプが緑色に点滅するかを確認してください。



点滅

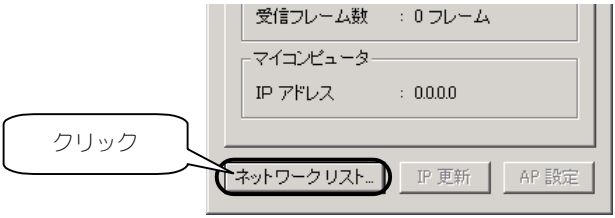


ランプが点滅しない場合は…

【困ったときには】の
110 ページ
をご参照ください。

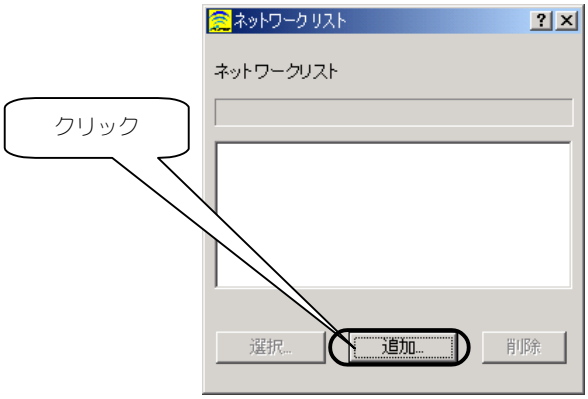
2 ユーティリティを起動します。
【ユーティリティ画面の起動】73ページをご覧ください。

3 [ネットワークリスト]ボタンをクリックします。
⇒[ネットワークリスト]画面が表示されます。

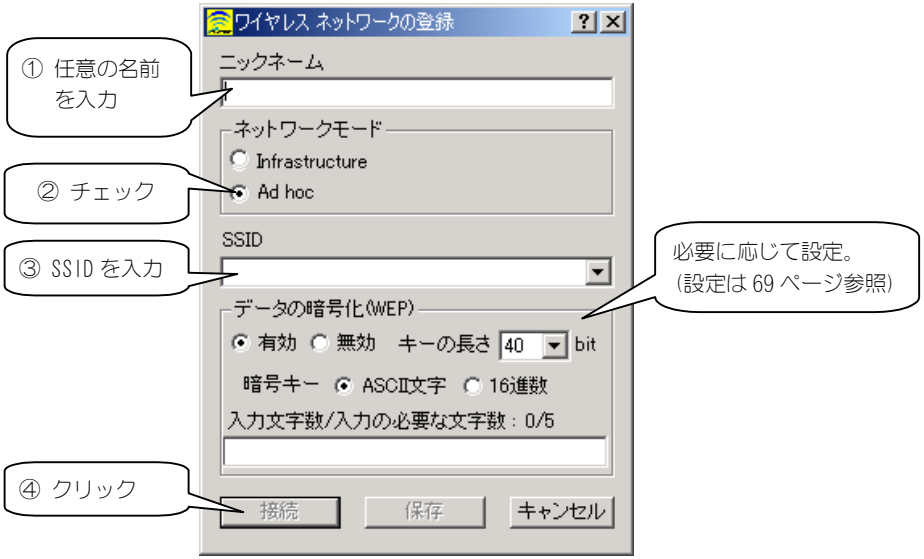


4 [追加]ボタンをクリックします。

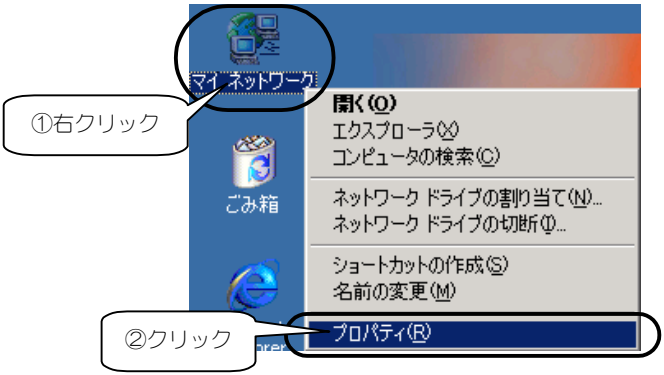
⇒[ワイヤレスネットワークの登録]画面が表示されます。



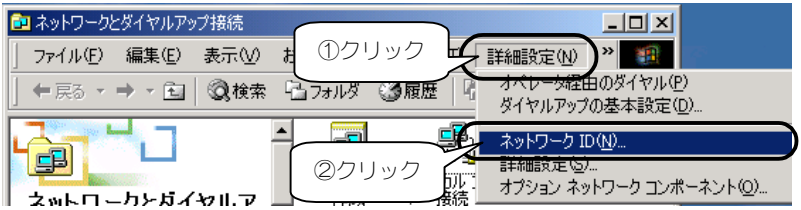
5 下記の通り設定します。必要に応じて暗号化(WEP)の設定を行い[OK]ボタンをクリックします。



6 [マイ ネットワーク]を右クリックして、[プロパティ]をクリックします。



7 [詳細設定]メニューの[ネットワークID]をクリックします。

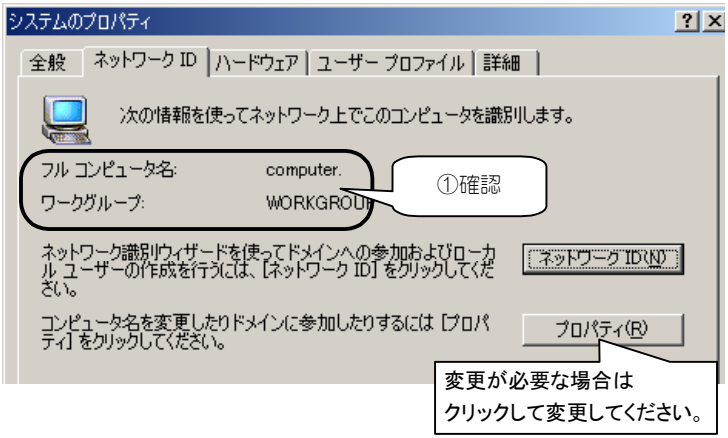


8 [フル コンピュータ名]と[ワークグループ]が
以下となっていることを確認してください。

フル コンピュータ名	ネットワーク上のそれぞれのパソコンを識別するための名前。（それぞれのパソコンで別々な固有の名前を設定します。）※
ワークグループ	ネットワーク上でグループ分けするための名前。（同じグループではすべて同じグループ名を指定します。）※ 本製品を使って接続する同一ネットワーク上のすべてのパソコンで同じものを指定してください。

※相手のコンピュータが見えない等のトラブルを未然に防ぐため、半角英数字の使用をおすすめします。

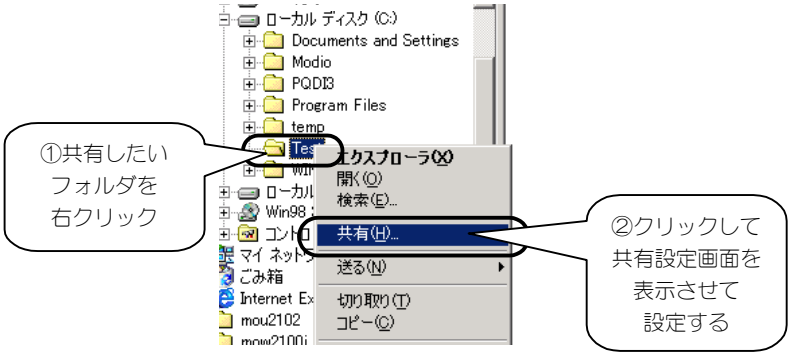
変更が必要な場合は、
[プロパティ]ボタンをクリックして、変更してください。



9 このパソコンにあるドライブやフォルダあるいはプリンタをネットワーク上の別のパソコンで使いたい（共有したい）場合は、共有の設定をします。

詳細はWindows 2000のヘルプを参照してください。

例：エクスプローラ上からの共有の設定



参考

共有を設定すれば…

自分のパソコンのドライブやフォルダ等を共有設定すれば、他のワークグループ上のパソコンからアクセスできるようになるため、マウス操作（マウスのドラッグアンドドロップ）で簡単にデータのやりとりができるようになります。

10 後は、[マイネットワーク]→[近くのコンピュータ]を順にダブルクリックすれば、本製品を装着した他のコンピュータ名や共有したフォルダ名等が表示されます。

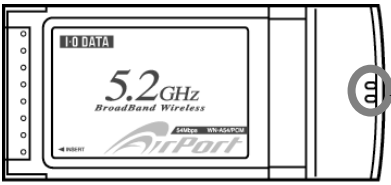
他のコンピュータ名が
表示されない場合は…

【困ったときには】の
113 ページ
をご参照ください。

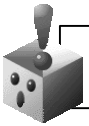
以上で、本製品同士で通信する場合（Ad hocモード）での設定は終了です。

Windows Meの場合の設定

1 本製品を装着したすべてのパソコンの電源を入れます。
本製品のランプが緑色に点滅するかを確認してください。



点滅

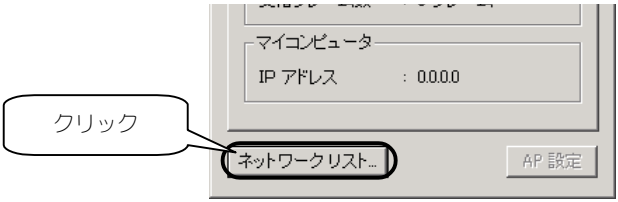


ランプが点滅しない場合は…

【困ったときには】の
110 ページ
をご参照ください。

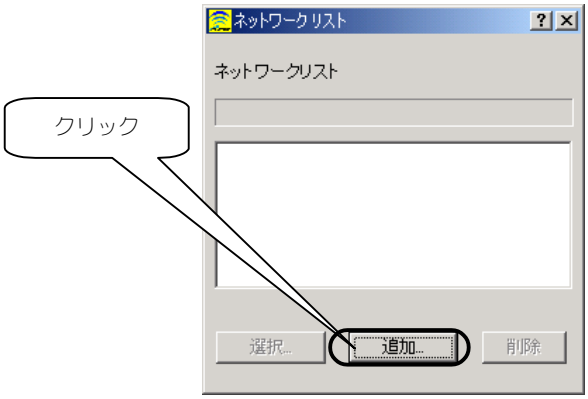
2 ユーティリティを起動します。
【ユーティリティの起動】52ページをご覧ください。

3 [ネットワークリスト]ボタンをクリックします。
⇒[ネットワークリスト]画面が表示されます。

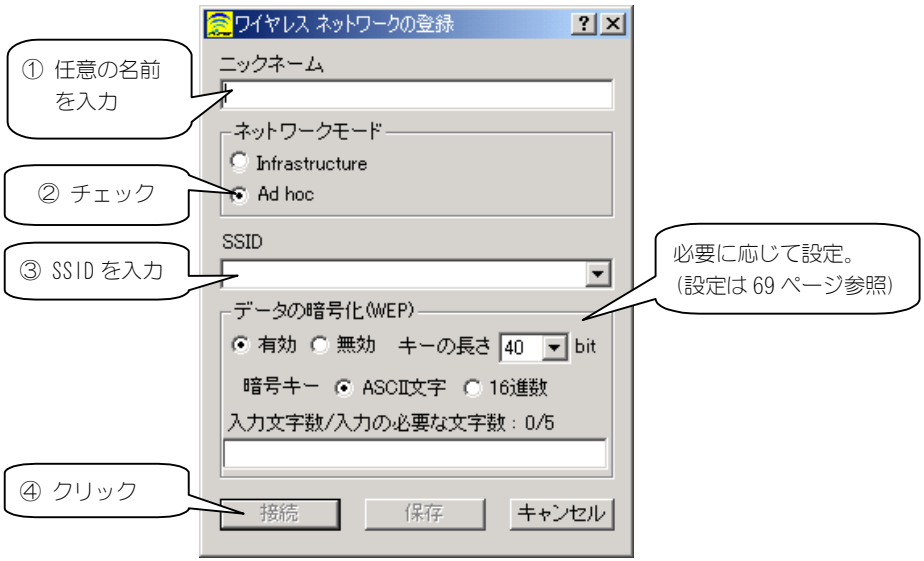


4 [追加]ボタンをクリックします。

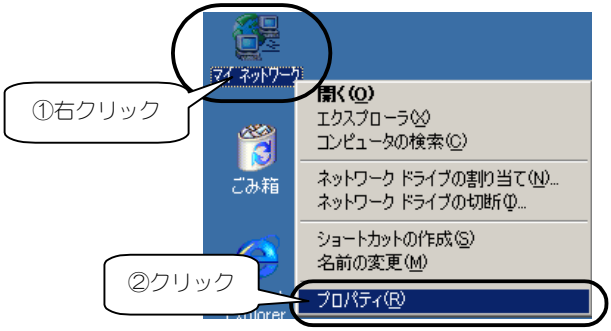
⇒[ワイヤレスネットワークの登録]画面が表示されます。



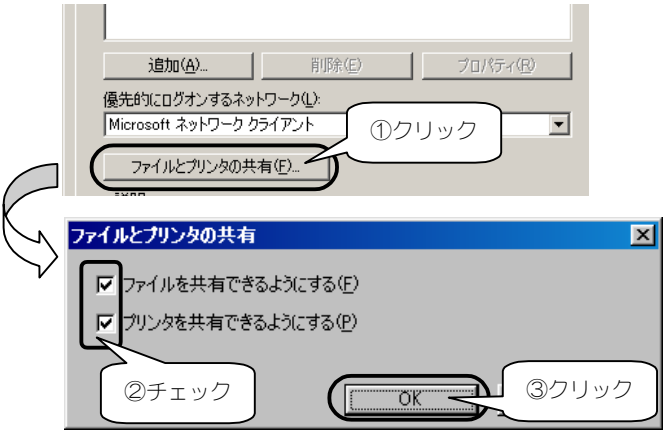
5 下記の通り設定します。必要に応じて暗号化(WEP)の設定を行い、[OK]ボタンをクリックします。



6 [マイ ネットワーク]を右クリックして、[プロパティ]をクリックします。



7 このパソコンにあるドライブ、フォルダ、プリンタをネットワークの別のパソコンで使いたい(共有したい)場合は、共有の設定をします。
[ファイルとプリンタの共有]ボタンをクリックし、共有したい項目をチェックします。チェック後、[OK]ボタンをクリックします。



参考

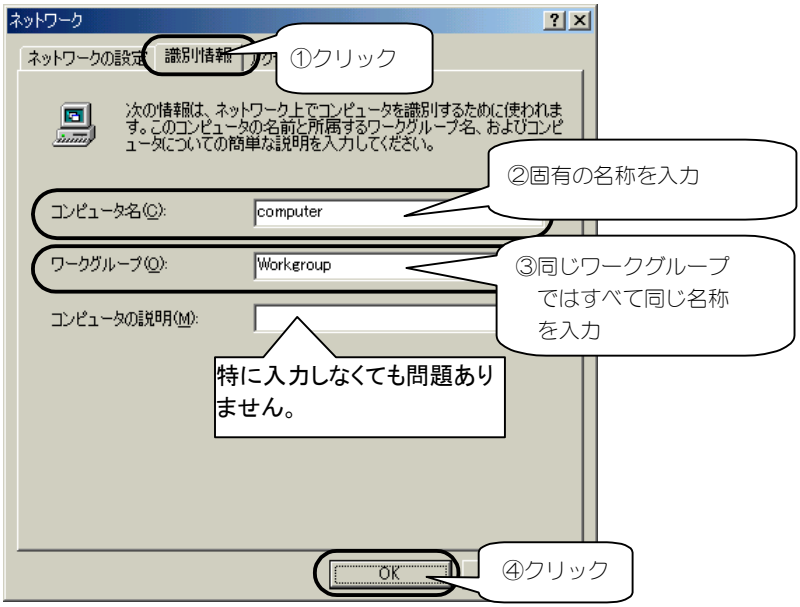
共有を設定すれば…・

自分のパソコンのドライブやフォルダ等を共有設定すれば、同一ワークグループ上の他のパソコンからアクセスできるようになるため、マウス操作（マウスのドラッグアンドドロップ）で簡単にデータのやりとりができるようになります。
手順についての詳細は Windows のヘルプを参照してください。

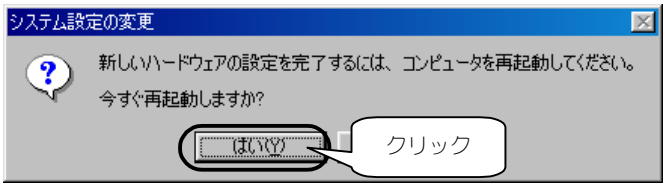
8 [識別情報]タブをクリックして、
[コンピュータ名]と[ワークグループ]に以下を入力し、
[OK]ボタンをクリックしてください。

コンピュータ名	ネットワーク上のそれぞれのパソコンを識別するための名前。（それぞれのパソコンで別々な固有の名前を設定します。）※
ワークグループ	ネットワーク上でグループ分けするための名前。（同じグループではすべて同じグループ名を指定します。）※ 本製品を使って接続する同一ネットワーク上のすべてのパソコンで同じものを指定してください。

※相手のコンピュータが見えない等のトラブルを未然に防ぐため、半角英数字の使用をおすすめします。



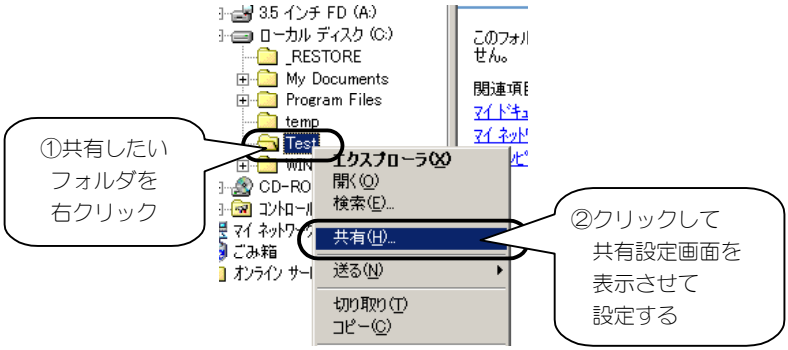
9 [はい]ボタンをクリックして、パソコンを再起動してください。



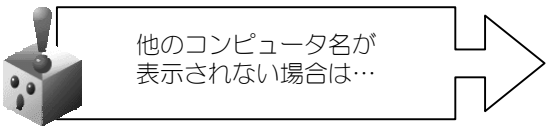
10 このパソコンにあるドライブやフォルダあるいはプリンタをネットワーク上の別のパソコンで使いたい(共有したい)場合は、共有の設定をします。

詳細は、Windowsのヘルプを参照してください。

(エクスプローラ上からの共有の設定)



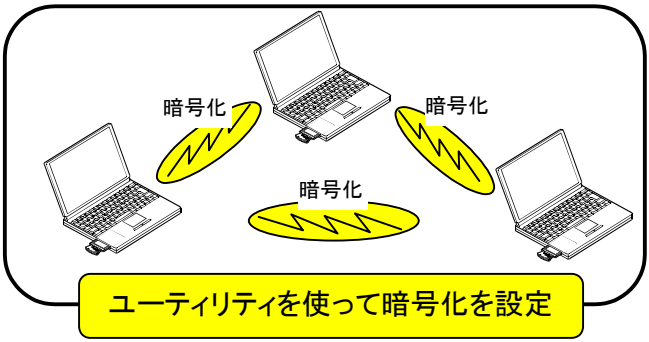
11 後は、[マイネットワーク](ネットワークコンピュータ)をダブルクリックすれば、本製品を装着した他のコンピュータ名や共有したフォルダ名等が表示されます。



以上で、無線LANアダプタだけで通信する場合([Ad hocモード])での設定は終了です。

通信を暗号化する

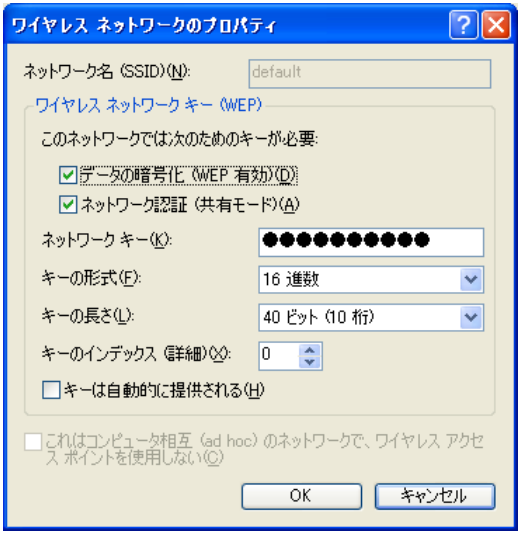
ここでは、通信時の暗号化の設定について説明します。
通信時に暗号化していない場合、電波の届く範囲であれば通信内容を傍受される危険があります。
本製品では、無線LANの暗号化の標準であるWEP（Wired Equivalent Privacy）での暗号化を行うことによって、傍受の危険を回避することができます。



注意！

・暗号化を行う場合、暗号化で通信するすべてのパソコンに設定が必要です。
・アクセスポイントと通信する場合は、アクセスポイントの暗号化キーに合わせてください。
・暗号キーを忘れてしまった場合は、あらたに本製品とアクセスポイントを設定してください。

暗号化の設定(Windows XPの場合)



データの暗号化(WEP有効)	暗号化(WEP)を有効にする場合にクリックします。
ネットワーク認証(共有モード)	共有鍵(シェアードキー)を使用する場合にクリックします
ネットワークキー	「キーの形式」に合わせた暗号鍵を入力します。
キーの形式	暗号鍵の形式を「ASCII文字」「16進数」から選択します。
キーの長さ	暗号鍵を入力する長さを ASCII文字の場合 「40ビット(5文字)」「104ビット(13文字)」 16進数の場合 「40ビット(10桁)」「104ビット(26桁)」 から選択します。
キーのインデックス(詳細)	インデックスを0～3の範囲で指定します。 通常は0を指定します。
キーは自動的に提供される	ネットワークキーが提供される環境の場合はチェックを入れてください。

暗号化の設定(Windows 2000/Meの場合)

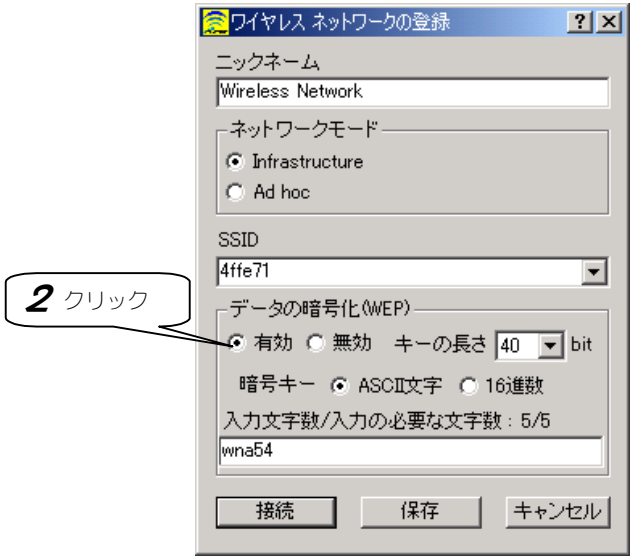
1 ユーティリティを起動します。

起動方法は、73ページを参照してください。

2 「データの暗号化(WEP)」内の[有効]にチェックを付けます。

[無効]にチェックを付けると暗号化しません。

3 暗号キーを設定します。



暗号キー **[ASCII文字]/[16進数]**	暗号キーの入力方法を選択します。ASCII文字（半角英数字および記号）または16進数から選択します。
キーの長さ **[40bit]/[104bit]**	暗号化されたデータの暗号キーの長さ（bit長）です。40bit、104bitのいずれかを選択します。一般的に、暗号キーが長い（数値が大きい）ほどセキュリティが高まります。

次ページへつづく

入力文字数/ 入力の必要な文字数	データの暗号化が“有効”になっているネットワークの暗号キーを入力します。（入力する暗号キーの文字数と、あと何文字入力が必要かが、テキストボックスの上に表示されます。）暗号キーが正しく設定されているコンピュータのみで通信できます。 暗号キーはInfrastructureやAd hocネットワークごとに設定できるので、設定値はネットワーク管理者にお問い合わせください。 なお、ここに入力できる文字数は［キーの長さ］および［ASCII文字］／［16進数］の設定により異なります。（下表参照）。

	40bit	104bit
ASCII文字（半角英数字）	5文字	13文字
16進数	10文字	26文字

設定ユーティリィを使う

ユーティリティ画面の起動

1 タスクトレイ（画面右下）のアイコンをダブルクリックします。



参考

・アイコンを右クリックして、[終了]を選ぶとユーティリティの常駐を終了します。
・受信レベルなどにより、以下のようにアイコンが変化します。

アイコン	内容
	非常に強い
	強い
	普通
	やや弱い
	弱い
（黄色）	通信圏外
（赤色）	カード非装着（赤色） 本製品が正しく認識されていない、または無効になっている。
	Ad hocモードで通信中

設定ユーティリティリファレンス

ユーティリティでは、以下のことが行えます。

タブ名	内容
ステータス	現在の通信状態を表示します。（以下参照）
APスキャン	通信圏内にある、すべてのネットワークの設定が一覧で表示されます。（76ページ参照）
信号ログ	電波の受信状況および送受信レートをグラフ表示します。（78ページ参照）

●ステータス

- **ニックネーム**
  接続中のネットワークのニックネームです。ネットワークを登録する際に、お客様がネットワークにつけたニックネームが表示されます。
  ニックネームが13文字より長い場合、13文字目以降は省略(...)して表示されます。
- **SSID**
  接続中の無線LANに固有のIDが表示されます。
  SSIDが13文字より長い場合、13文字目以降は省略(...)して表示されます。
- **データ暗号化**
  無線通信を暗号化しているかどうかが表示されます。
- **通信レート**
  通信レート（速度）が表示されます。
- **チャンネル**
  使用中の通信チャンネルと周波数が表示されます。



次ページへつづく



・**ネットワークモード**
接続中のネットワークのネットワークモードが表示されます。アクセスポイントを使用している場合は［Infrastructure］と、アクセスポイントを使わずコンピュータだけでネットワークを構成している場合は［Ad hoc］と表示されます。

・**受信レベル**
電波の受信状況（強度）がバーグラフで表示されます。

・**送信フレーム数**
送信したフレームの総数が表示されます。

・**受信フレーム数**
受信したフレームの総数が表示されます。

・**IPアドレス**
お使いのコンピュータのIPアドレスが表示されます。

・**[ネットワークリスト]ボタン**
クリックすると「ネットワークリスト」ダイアログが表示され、新しいネットワークの登録や、ネットワークの削除が行えます。

・**[IP更新]ボタン**
クリックすると、お使いのコンピュータに割り当てられているIPアドレスをいったん開放し、新しいIPアドレスを取得します。

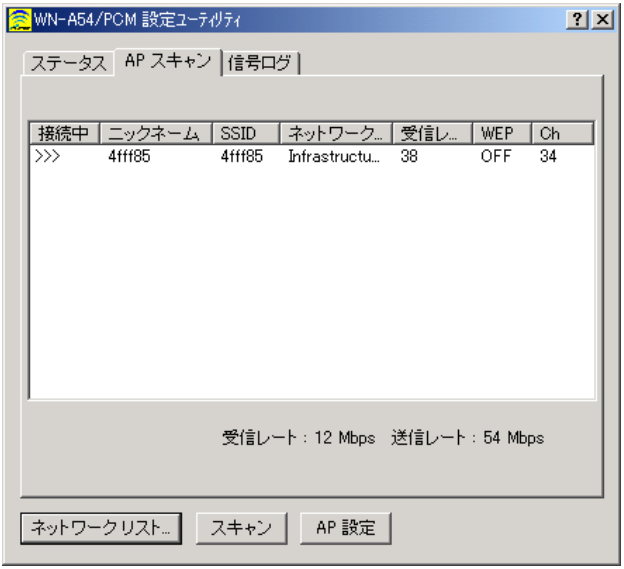
注意！ コンピュータに固定IPアドレスが設定されている場合は、このボタンは使用できません。また、Windows Meでお使いの場合、このボタンは表示されません。詳しくは、ヘルプをご覧ください。

・**[AP設定]ボタン**
クリックするとウェブブラウザが起動し、アクセスポイントの設定画面が表示されます。アクセスポイントの設定画面では、アクセスポイントの設定やステータスの表示を行うことができます。アクセスポイントを使用しないAd hocモードの場合には、このボタンは使用できません。

注意！ ［AP設定］ボタンは、弊社製無線LANアクセスポイント付ブロードバンドルータ「WN-A54/BBR」（別売り）をお使いのときのみ使用できます。

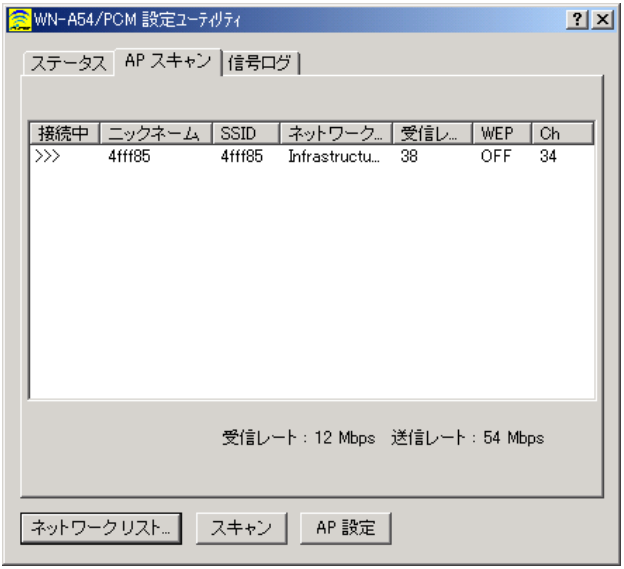
●APスキャン

通信圏内にある、すべてのネットワークの設定が一覧で表示されます。



・接続中 現在接続されているアクセスポイントに">>>"マークがつきます。	・SSID 無線LANに固有のIDが表示されます。
・ニックネーム ネットワークリストに登録済みのネットワークの場合は、ニックネームが表示されます。設定ユーティリティに登録されていないネットワークの場合は、空欄になります。（注意！ Windows XPでは表示されません。）	・ネットワークモード ネットワークモードが表示されます。アクセスポイントを使用している場合は［Infrastructure］、アクセスポイントを使わずコンピュータだけでネットワークを構成している場合は［Ad hoc］と表示されます。
・受信レベル 電波の受信状況（強度）が数字で表示されます。	・WEP 通信データの暗号化が行われているかどうかが表示されます。
・Ch ネットワークが使用する通信チャンネルが表示されます。	

次ページへつづく



・[ネットワークリスト]/[ネットワークの登録]ボタン

[ネットワークリスト...]

75ページをご覧ください。

[ネットワークの登録...]

リスト上のネットワークを選択すると、ボタンの表示が［ネットワークの登録...］に変わります。クリックすると「ワイヤレス ネットワークの登録」ダイアログが表示され、選択したネットワークへの接続や設定の変更、新しいネットワークの登録が行えます。

・[スキャン]ボタン

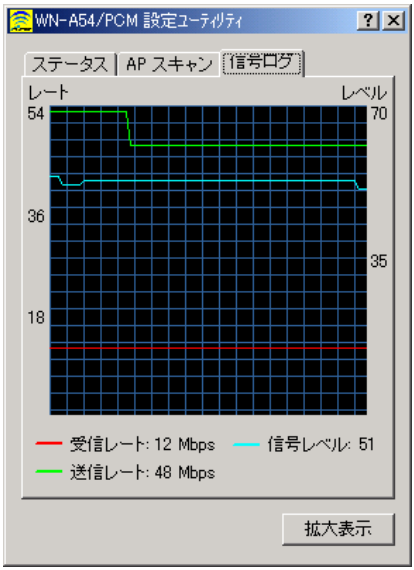
クリックすると、通信圏内で稼動中のネットワークの再検索を行い、ネットワークリストの表示を更新します。

注意！ Windows Meでは表示されません。

・[AP設定]ボタン

75ページをご覧ください。

●信号ログ



・信号ログ **電波の受信状況および送受信レートをグラフ表示します。** **赤色の線はデータの受信レートを、緑色の線はデータの送信レートを、水色の線は電波の受信状況（強度）を表します。**
・[拡大表示]/[元に戻す]ボタン **［拡大表示］と表示されているときは、クリックするとウィンドウの横幅が広がります。** **［元に戻す］と表示されているときは、クリックすると元のサイズに戻ります。**



注意！

- **本製品を含め、同一のアクセスポイントと通信する無線 LAN アダプタは、すべて同じ SS ID にする必要があります。**
- **SS ID は半角英数字で 32 文字まで入力できます。（大文字、小文字の区別もあります。）**
- **SS ID およびチャンネルの値が他の無線 LAN と重なると、他の無線 LAN に通信の内容が流れる、あるいは他の無線 LAN の通信が来てしまいます。**
  そのために起こったトラブルに対しては弊社は一切責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- **Windows XP や Windows 2000 にて本製品を使用する場合は、管理者権限（Administrator 権限）を持ったユーザーでログインしてご使用ください。**



参考

- **SS ID とは、本製品とアクセスポイントの通信時に使用する識別用の ID です。**
  アクセスポイント単位に割り当てるため、同一のアクセスポイントに通信する無線ネットワーク製品は、同じ ID にする必要があります。
  無線 LAN 製品によっては、ESS ID と記載されている場合もあります。
- **アクセスポイント使用時の通信チャンネルは、アクセスポイントに設定した通信チャンネルが使用されます。**

MEMO

第4章

その他の操作

この章では、実際に本製品を使って通信する方法について説明します。

インストール状態を確認する 82ﾍﾟｰｼﾞ

インストールが正常かどうかの確認方法を説明します。

本製品を取り外す 92ﾍﾟｰｼﾞ

本製品の取り外し手順について説明します。

本製品を削除する(アンインストール) 94ﾍﾟｰｼﾞ

インストールしたドライバソフトやユーティリティ
ソフトの削除方法について説明します。

インストール状態を確認する

ここでは本製品が、Windowsで正常に認識されているかどうかの確認方法を説明します。インストール終了（再起動）後、必ず以下の事を確認してください。

・Windows XPの場合	⇒ 以下の【Windows XPでの確認】参照
・Windows 2000の場合	⇒ 85ページ【Windows 2000での確認】参照
・Windows Meの場合	⇒ 88ページ【Windows Meでの確認】参照

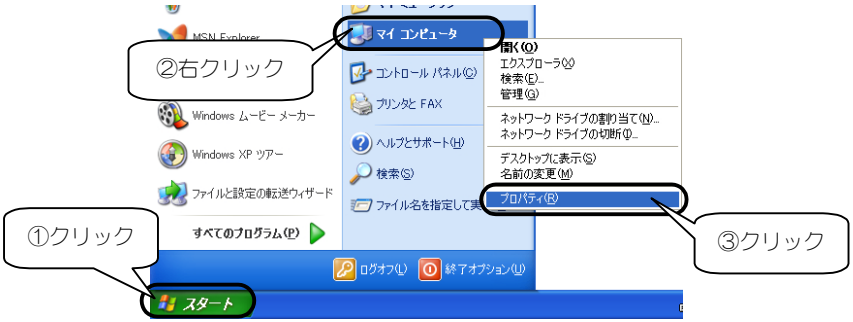
Windows XPでの確認

ここでは、Windows XPでの確認方法を説明します。

確認：[デバイスマネージャ]に本製品が正常に登録されているか確認しましょう

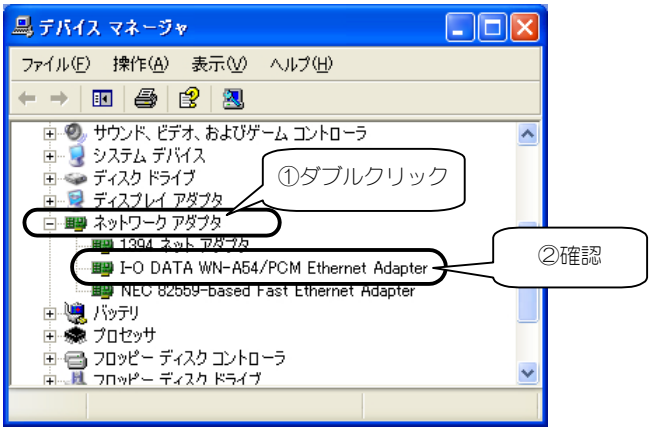
本製品が正常にインストールされたかを確認するために、
以下の手順で、［デバイスマネージャ］に本製品が登録されているかを確認します。

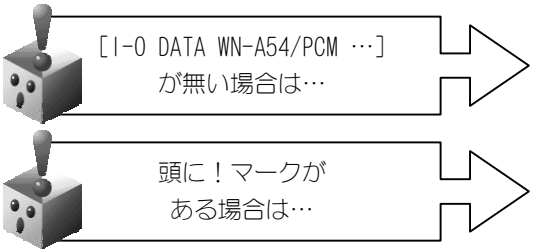
1 [スタート]をクリックし、[マイコンピュータ]を右クリックして、[プロパティ]をクリックします。



2 [ハードウェア]タブをクリックして、
[デバイスマネージャ]ボタンをクリックします。

3 [ネットワークアダプタ]をダブルクリックします。
・[ネットワークアダプタ]の下に
[I-O DATA WN-A54/PCM Ethernet Adapter]と表示されているかを確認します。
・その頭に！マークが表示されていないことも確認します。



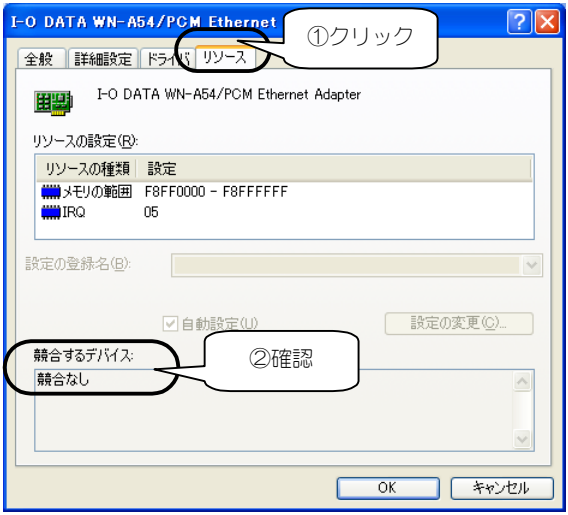


【困ったときには】の
110 ページ
をご参照ください。

【困ったときには】の
111 ページ
をご参照ください。

4 [I-O DATA WN-A54/PCM Ethernet Adapter」をダブルクリックし、[リソース]タブをクリックします。

・デバイスが競合していないことを確認してください。



正常に表示されていれば、Windows XPで本製品が使用できます。

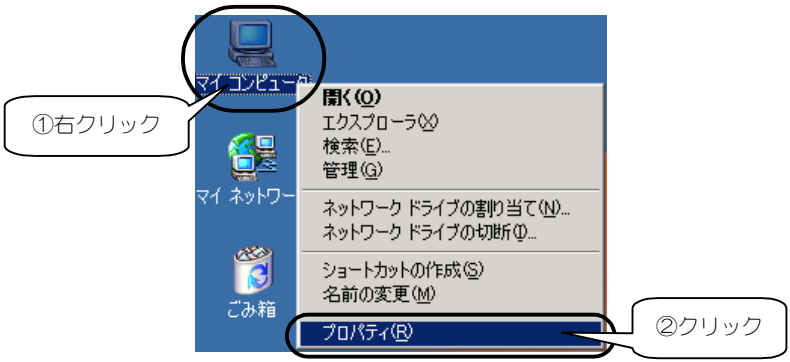
Windows 2000での確認

ここでは、Windows 2000での確認方法を説明します。

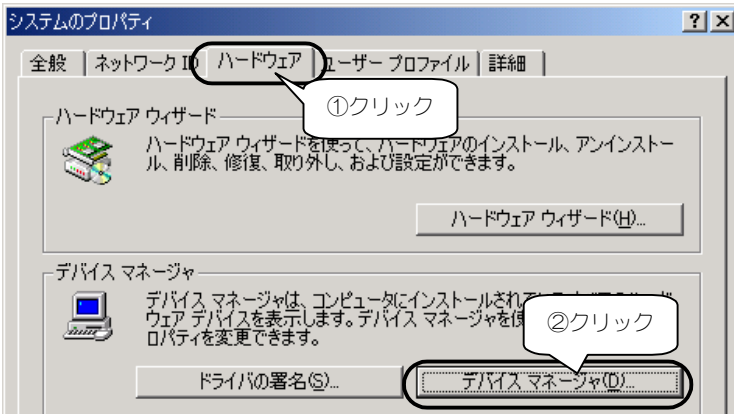
確認:[デバイスマネージャ]に本製品が正常に登録されているか確認しましょう

本製品が正常にインストールされたかを確認するために、
以下の手順で、［デバイスマネージャ］に本製品が登録されているかを確認します。

1 ［マイコンピュータ]を右クリックし、[プロパティ]をクリックします。



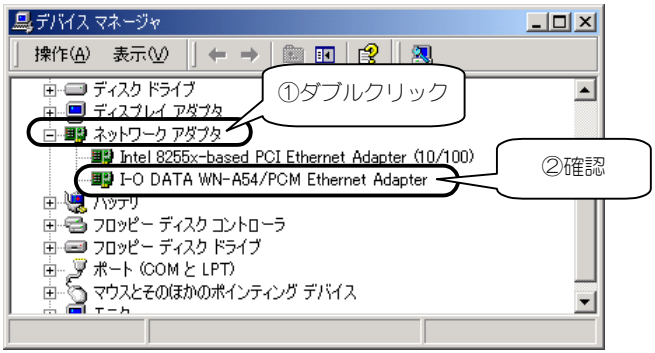
2 [ハードウェア]タブをクリックして、
[デバイスマネージャ]ボタンをクリックします。

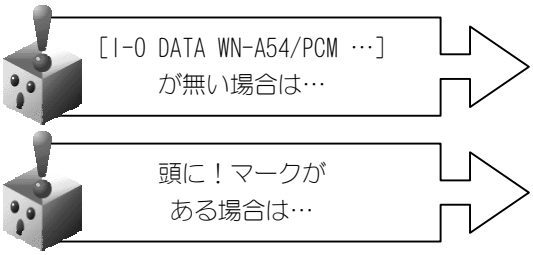


3 [ネットワークアダプタ]をダブルクリックします。

・[ネットワークアダプタ]の下に
[I-O DATA WN-A54/PCM Ethernet Adapter]と表示されているかを確認します。

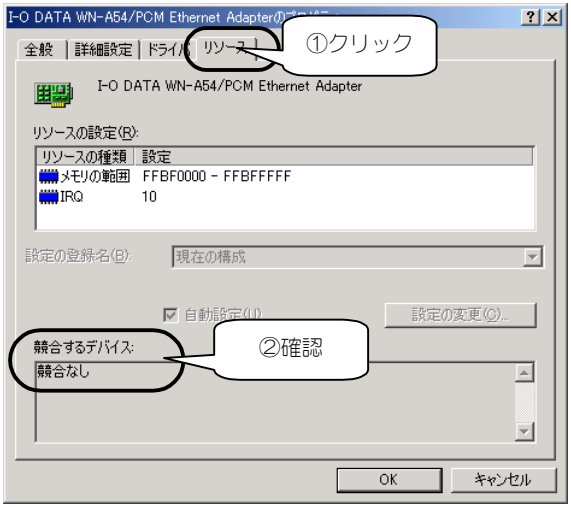
・その頭に！マークが表示されていないことも確認します。





4 [I-O DATA WN-A54/PCM Ethernet Adapter」をダブルクリックし、[リソース]タブをクリックします。

・デバイスが競合していないことを確認してください。



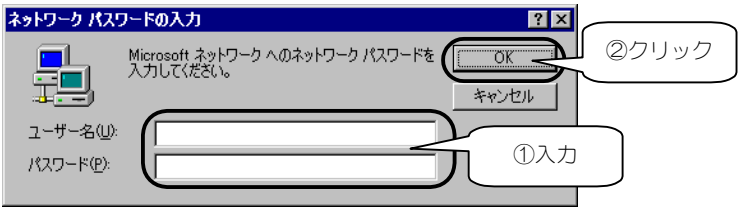
正常に表示されていれば、Windows 2000で本製品が使用できます。

Windows Meでの確認

ここでは、Windows Meでの確認方法を説明します。
インストール後、パソコンを再起動した後、以下の点をご確認ください。

確認①：Windows起動途中で、[ネットワークパスワードの入力]画面が表示されるか確認しましょう

《ネットワークパスワードの入力》画面



インストール後、パソコンを再起動すると起動途中で上記の画面が表示されますので、ユーザー名とパスワードを入力して[OK]ボタンをクリックしてください。
［キャンセル］ボタンをクリックすると、ネットワークにログインできません。

参考

[ユーザー名]と[パスワード]について‥‥

・ネットワーク上にサーバーがある場合
サーバーの管理者にご確認ください。間違った場合は、ネットワークにログインできません。

・ネットワーク上にサーバーがない場合
[ユーザー名]には、ネットワーク上で固有な名称（他のパソコンと重複しない名称）を入力してください。（入力した値は、忘れないようにしてください。）
[パスワード]は特に入力する必要はありません。

画面が表示されない場合は…

【困ったときには】の 116 ページをご参照ください。

確認②：デスクトップ上に［マイネットワーク］のアイコンが表示されるか確認しましょう



［マイネットワーク］
アイコン

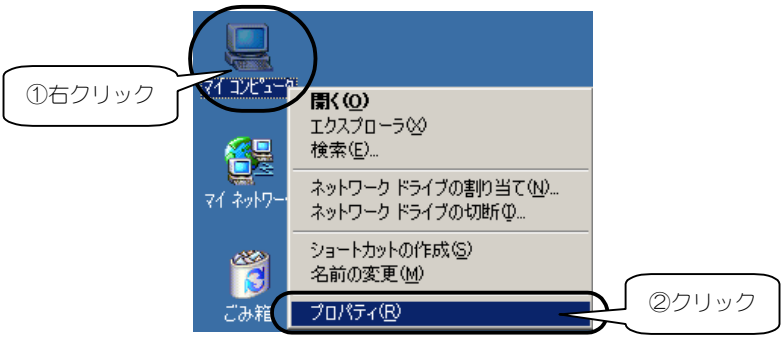
アイコンが
表示されない場合は…

【困ったときには】の
117 ページ
をご参照ください。

確認③：［デバイスマネージャ］に本製品が正常に登録されているか確認しましょう

本製品が正常にインストールされたかを確認するために、
以下の手順で、［デバイスマネージャ］に本製品が登録されているかを確認します。

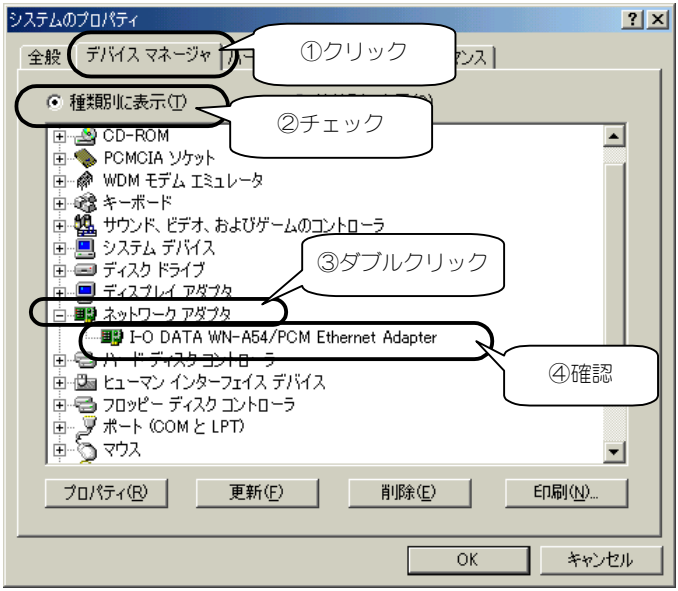
1 ［マイコンピュータ］を右クリックし、［プロパティ］をクリックします。



2 [デバイスマネージャ]タブをクリックし、[種類別に表示]で[ネットワークアダプタ]をダブルクリックします。

・[ネットワークアダプタ]の下に[I-O DATA WN-A54/PCM Ethernet Adapter]と表示されていることを確認します。

・その頭に！マークが表示されていないことも確認します。





[I-O DATA WN-A54/PCM …]が無い場合は…

【困ったときには】の 110 ページをご参照ください。



頭に！マークがある場合は…

【困ったときには】の 111 ページをご参照ください。

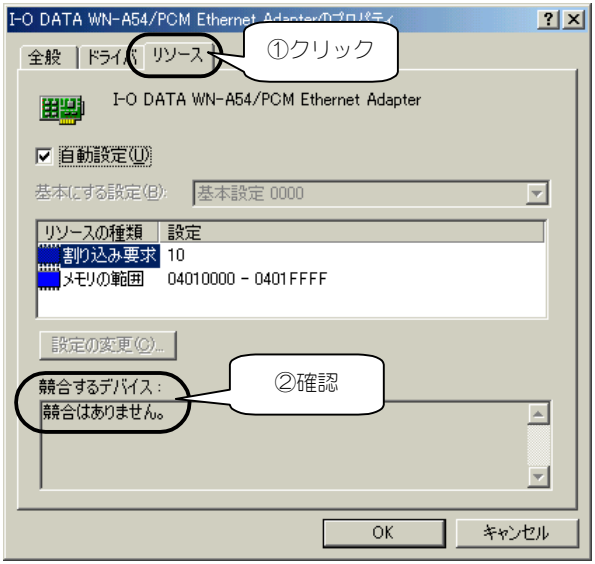
参考

PC98-NX シリーズで[デバイスマネージャ]が表示されない場合は、以下の手順で[アドバンスドモード]に設定してください。

1.[スタート]→[プログラム]→[Cyber Trio-NX](あるいは[NX ユーティリティ]、[NX の設定])→[Cyber-Trio-NX セットアップ]を順に起動します。
2.[アドバンスドモード]をチェックし、[OK]ボタンをクリックします。
3.Windows を再起動します。
再起動後、再度手順 *1* から行ってみてください。

3 [I-O DATA WN-A54/PCM Ethernet Adapter」をダブルクリックし、[リソース]タブをクリックします。

・デバイスが競合していないことを確認してください。



正常に表示されていれば、Windows Meで本製品が使用できます。

本製品を取り外す

本製品は、パソコンの電源を切った後にPCカードスロットから取り外すことができます。また、ご使用中に取り外すこともできます。

注意！

・本製品を取り外す場合は、通信を行っていないこと、（他のパソコンのアクセス含む）を確認してから取り外してください。
・以下の手順を行うと、実際に本製品を PC カードスロットから抜かなくても動作は終了したとみなされ、本製品の取り外しが可能となります。
再度使用したい場合は、いったん PC カードスロットから本製品を抜いて、再び接続してください。

Windows使用中に取り外す場合

1 画面右下のタスクトレイの（または ）アイコンをクリックし、[I-O DATA WN-A54/PCM……]をクリックします。

（Windows XPでの表示例）



（Windows 2000での表示例）



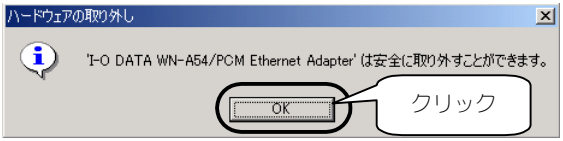
（Windows Meでの表示例）



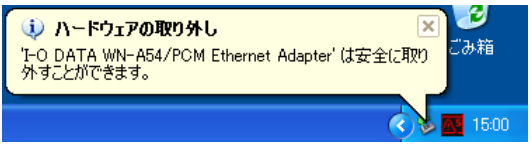
2 [OK]ボタンをクリックします。

Windows XPの場合は不要です。

Windows画面右下の「ハードウェアの取り外し」画面をご確認ください。



（Windows 2000、Windows Meでの表示例）



（Windows XPでの表示例）

3 本製品をPCカードスロットから取り外します。

以上でWindows上での取り外しの手順は終了です。
再度使用したい場合は、そのままPCカードスロットに挿入すれば使用できます。

本製品を削除する（アンインストール）

インストールしたドライバソフトやユーティリティソフトを削除する方法を説明します。

ユーティリティを削除する

インストールしたユーティリティソフトは、［アプリケーションの追加と削除］から削除することができます。

1 タスクトレイのアイコンを右クリックして、設定ユーティリティを終了します。

2 PCカードを抜きます。
【本製品を取り外す】（92ページ）の手順にしたがってください。

3 [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]の[アプリケーションの追加と削除]を開きます。
（Windows XPの場合[スタート]→[コントロールパネル]の[プログラムの追加と削除]）

4 [WN-A54/PCM設定ユーティリティ]を削除します。
［WN-A54/PCM設定ユーティリティ］をクリックした後、［追加と削除］（[変更と削除]、[変更/削除]）ボタンをクリックします。

後は、画面の指示にしたがってください。

ドライバを削除する

・*Windows XP* → 以下の【Windows XPでドライバを削除する】
・*Windows 2000* → 99ページ【Windows 2000でドライバを削除する】
・*Windows Me* → 104ページ【Windows Meでドライバを削除する】

●Windows XPでドライバを削除する

削除は、インストールした「サポートソフト」（「ドライバソフト」と「INFファイル」）を削除します。最初にドライバソフトを削除します。

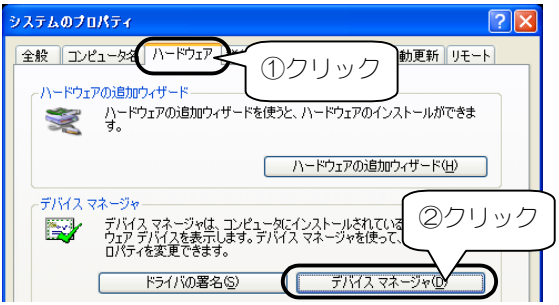
注意！

・本製品は取り付けたままにしておいてください。

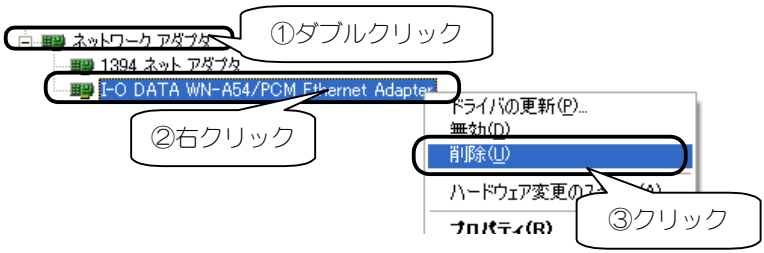
1 [スタート]をクリック後、
[マイコンピュータ]を右クリックし、表示された[プロパティ]をクリックします。



2 [ハードウェア]タブをクリック後、
[デバイスマネージャ]ボタンをクリックします。



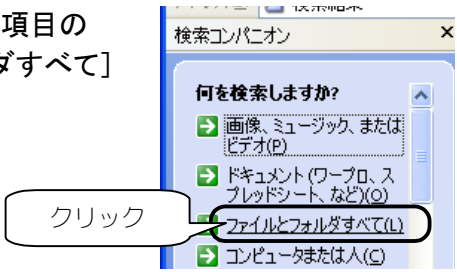
3 [ネットワークアダプタ]をダブルクリック後、
[I-O DATA WN-A54/PCM Ethernet Adapter]を右クリックし、
表示された[削除]をクリックします。



4 [OK]ボタンをクリックして、ドライバソフトを削除します。

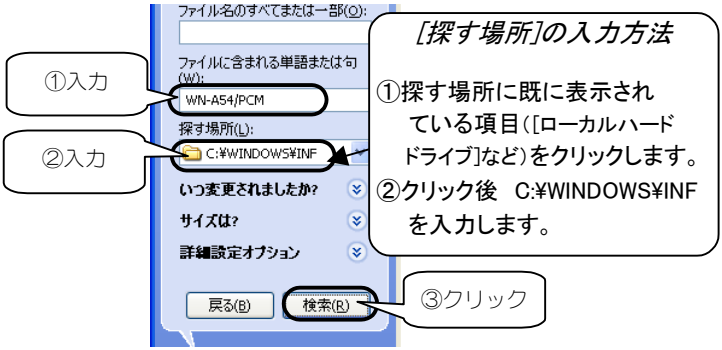
5 次に INF ファイルを削除します。
[スタート]→[検索]を順にクリックします。

6 「何を検索しますか？」の項目の
中から[ファイルとフォルダすべて]
をクリックします。

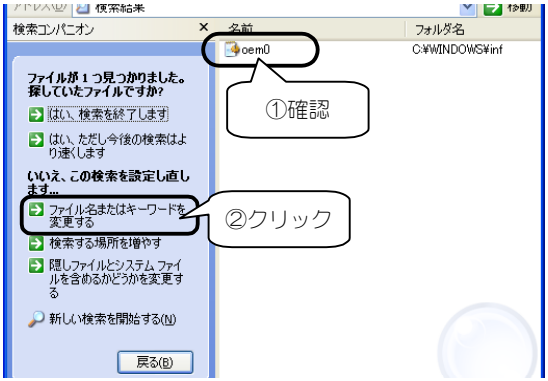


7 [含まれる文字列]、[探す場所]に以下を入力後、[検索]ボタンをクリックします。

含まれる文字列	WN-A54/PCM
探す場所	C:¥WINDOWS¥INF ※Windows XPがCドライブのWINDOWSフォルダにインストールされている場合



8 検索されたファイルを確認後、[ファイル名またはキーワードを変更する]をクリックします。



注意！

・検索には、数分かかる場合があります。

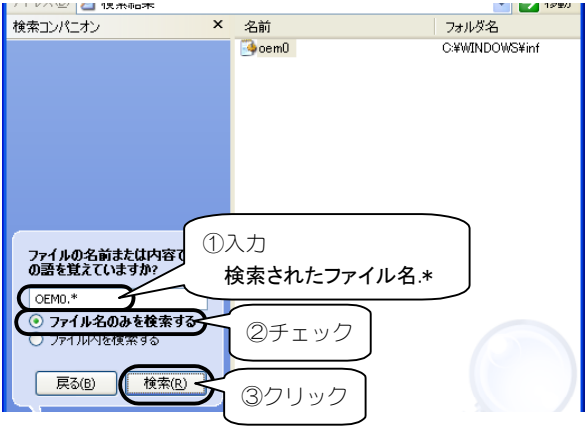
・検索されるファイル名は、お使いのパソコンにより異なります。（上記画面例では、oem0 のファイルが検索されています。）

9 [ファイルの名前または内容…]に以下を入力します。

検出されたファイル名.*

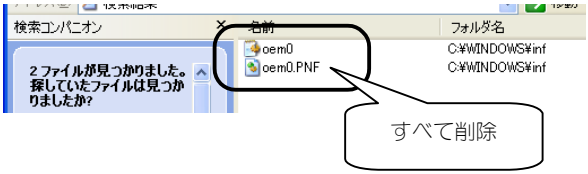
（画面例では、oem0 のファイル名が検出されていますので、
oem0.* と入力します。）

[ファイル名のみを検索する]をチェック後、[検索]ボタンをクリックします。



10 検索されたファイルを右クリックし、表示された[削除]をクリックします。

表示されたすべてのファイル（通常、「oemxx.inf」と「oemxx.PNF」の2つのファイル）をすべて削除してください。



11 削除後、パソコンを再起動してください。

以上で、インストールしたドライバソフトとINFファイルの削除（アンインストール）は終了です。

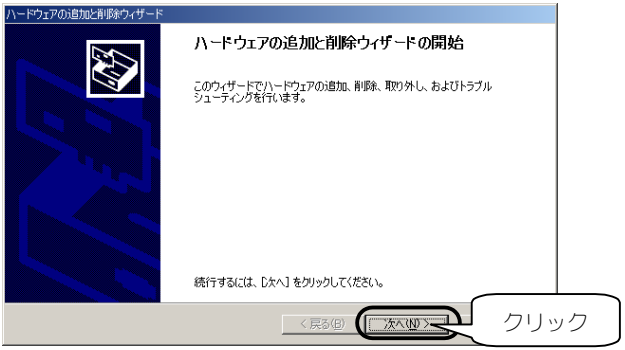
●Windows 2000でドライバを削除する

削除は、インストールした「サポートソフト」（「ドライバソフト」と「INFファイル」）の削除です。最初にドライバソフトを削除します。

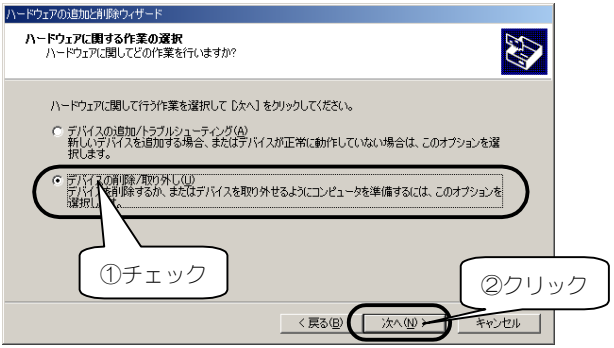
1 [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を順にクリックし、[ハードウェアの追加と削除]アイコンをダブルクリックします。



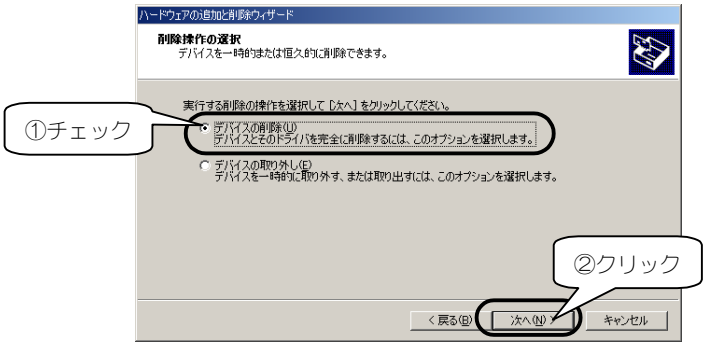
2 [次へ]ボタンをクリックします。



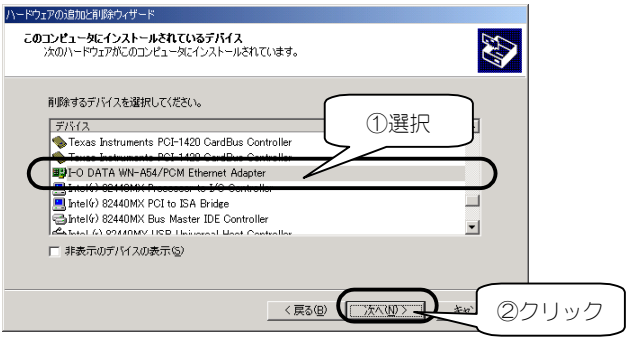
3 [デバイスの削除/取り外し]をチェックし、[次へ]ボタンをクリックします。



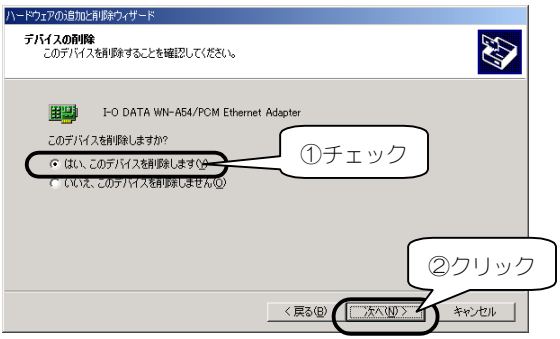
4 [デバイスの削除]をチェックし、
[次へ]ボタンをクリックします。



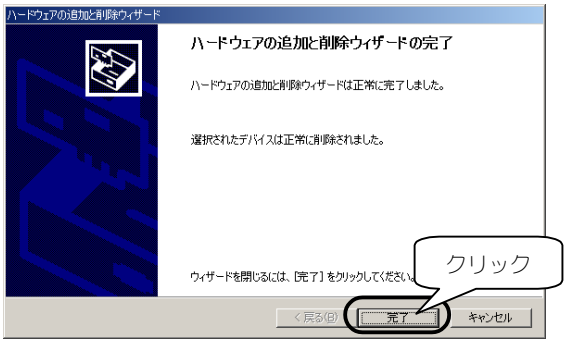
5 [I-O DATA WN-A54/PCM Ethernet Adapter]を選択し、
[次へ]ボタンをクリックします。



6 [はい、このデバイスを削除します]をチェックし、
[次へ]ボタンをクリックします。



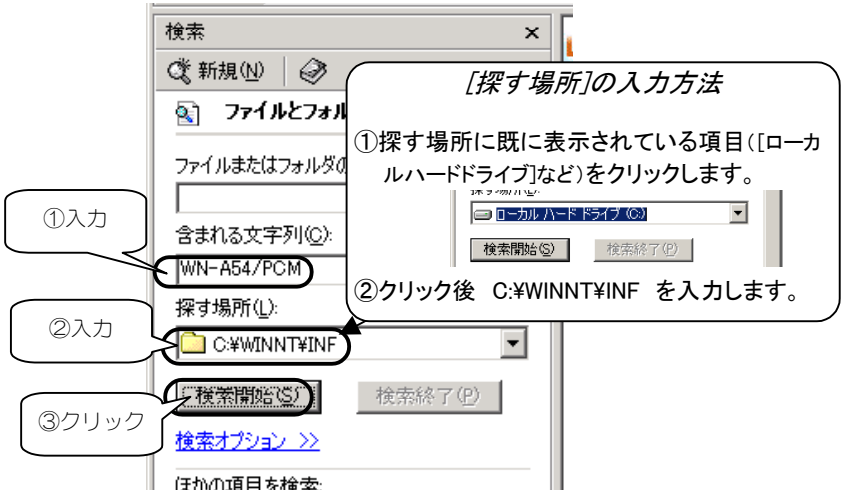
7 [完了]ボタンをクリックします。
これでドライバソフトは削除できました。



8 次にINFファイルを削除します。
[スタート]→[検索]→[ファイルやフォルダ]を順にクリックします。

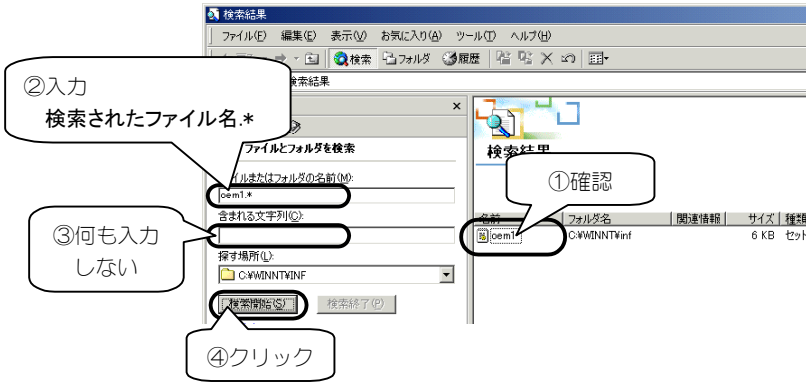
9 以下を入力し、[検索開始]ボタンをクリックします。

含まれる文字列	WN-A54/PCM
探す場所	C:¥WINNT¥INF ※Windows 2000がCドライブのWINNTフォルダにインストールされている場合



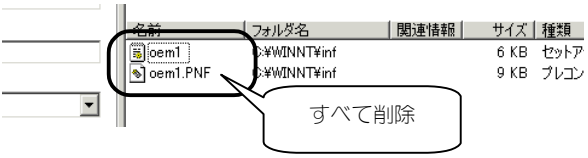
10 検索されたファイル名を確認後、以下を入力し、[検索開始]ボタンをクリックします。

ファイルまたは フォルダの名前	検出されたファイル名.* （画面例では、oem1 のファイル名が検出されていますので、oem1.* と入力します。）
含まれる文字列	何も入力しない （*9*の手順で入力した“WN-A54/PCM”文字列は削除）
探す場所	C:¥WINNT¥INF ※Windows 2000がCドライブのWINNTフォルダにインストールされている場合



11 検索されたファイルを右クリックし、表示された[削除]をクリックします。

表示されたすべてのファイル（通常、「oemxx.inf」と「oemxx.PNF」の2つのファイル）をすべて削除してください。



注意！

・検索には、数分かかる場合があります。

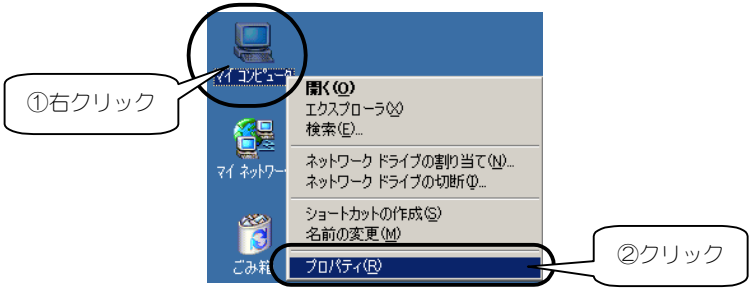
・検索されるファイル名は、お使いのパソコンにより異なります。（上記画面例では、oem1 と oem1.PNF の2つのファイルが検索されています。）

12 パソコンを再起動してください。

以上で、インストールしたドライバソフトとINFファイルの削除（アンインストール）は終了です。

●Windows Meでドライバを削除する

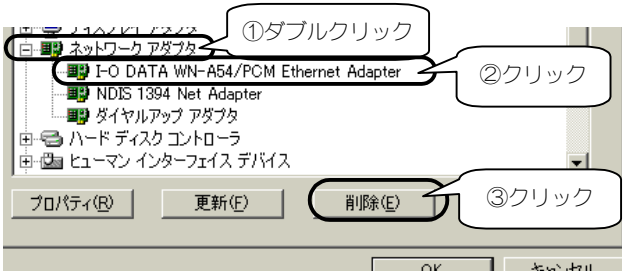
1 [マイコンピュータ]を右クリックし、
[プロパティ]をクリックします。



2 [デバイスマネージャ]タブをクリックし、
[種類別に表示]をクリックします。



3 [ネットワークアダプタ]をダブルクリックし、表示された
[I-O DATA WN-A54/PCM Ethernet Adapter]をクリック後、
[削除]ボタンをクリックし、[OK]ボタンをクリックします。

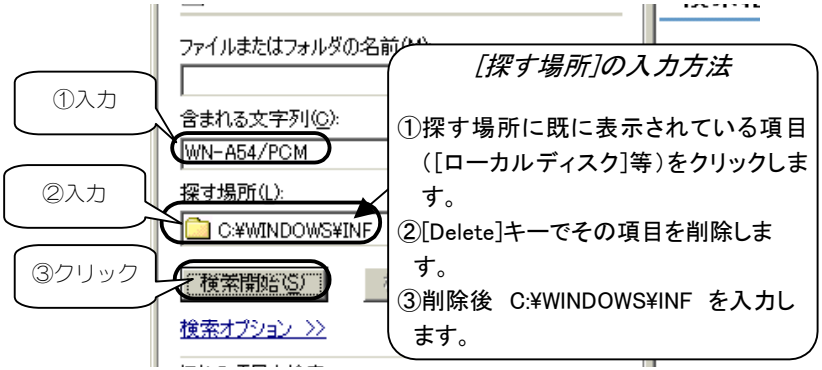


注意！

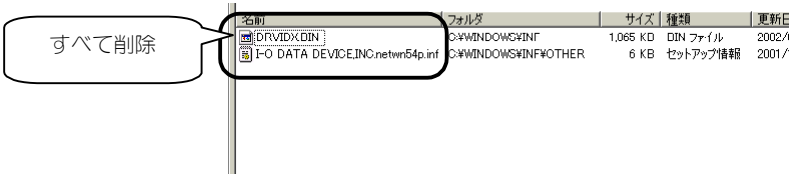
このあと、再起動の画面がでますが、[いいえ]ボタンをクリックしてください。

4 パソコンを再起動せずに
[スタート]→[検索]→[ファイルやフォルダ]をクリック後、
以下を入力し、[検索開始]ボタンをクリックします。

含まれる文字列	WN-A54/PCM
探す場所	C:¥WINDOWS¥INF ※Windows MeがCドライブのWINDOWSフォルダにインストールされている場合



5 検索されたファイルを右クリックし、
表示された[削除]をクリックして削除します。
検索されたすべてのファイルを削除してください。



注意！

検索には、数分かかる場合があります。

6 パソコンを再起動してください。

以上で、インストールしたドライバソフトの削除
（アンインストール）は終了です。

MEMO

ふろく

必要に応じてお読みください。

困ったときには 108ﾍﾟｰｼﾞ

本製品を使用して異常があった場合にご覧ください。

IPアドレス設定例 119ﾍﾟｰｼﾞ

IPアドレスの設定例を紹介します。

本製品のMACアドレスについて 124ﾍﾟｰｼﾞ

本製品のMACアドレスについて説明します。

用語解説 125ﾍﾟｰｼﾞ

用語について説明します。

仕様 128ﾍﾟｰｼﾞ

本製品の仕様について説明します。

困ったときには

本製品を使用していて異常があった場合にご覧ください。

状態	参照ページ
本製品を取り付けてもランプが点灯、あるいは点滅しない	１１０
CD-ROMドライブがないので、インストールできない	
［デバイスマネージャ］の確認で、［I-O DATA WN-A54/PCM Ethernet Adapter］が表示されない	
本製品が正常に動作しない ［デバイスマネージャ］の確認で、［I-O DATA WN-A54/PCM Ethernet Adapter］の頭に、黄色の！マークがついている	１１１
インストール画面が表示されない	１１３
［ネットワーク］画面で、［I-O DATA WN-A54/PCM Ethernet Adapter］が表示されない	
［マイネットワーク］に、他のコンピュータ名が表示されない	
「レジューム」「ハイバネーション」「スタンバイ」の後、動作が不安定になる	１１５
設定ユーティリティがインストールできない	１１６

状態	参照ページ
（Windows Meのみ） インストール後の確認で、［ネットワークパスワードの入力］画面が表示されない	１１６
（Windows Meのみ） インストール後の確認で、デスクトップ上に、［マイネットワーク］アイコンが表示されない	１１７
（Windows Meのみ） ［ネットワーク］画面に、 ［TCP/IP－＞xxxxxxxx］は複数表示されているのに、 ［TCP/IP－＞I-O DATA WN-A54/PCM Ethernet Adapter］が表示されていない	１１８

トラブルの状態と対処

本製品を取り付けてもランプが点灯、あるいは点滅しない

原因1	本製品を取り付けているPCカードスロットが不安定である。
対処	別のPCカードスロットに取り付けてみてください。

原因2	パワーマネジメント機能がONになっている。
対処	本製品を取り外してから、パワーマネジメント機能をOFFにします。 再度、本製品を取り付けてください。

CD-ROMドライブがないので、インストールできない

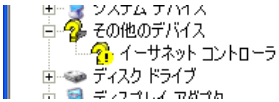
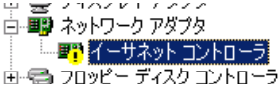
対処	4ページを参照して、弊社ホームページ（http://www.iodata.jp/lib/）より「設定ユーティリティ」を入手してください。

[デバイスマネージャ]の確認で、[I-O DATA WN-A54/PCM Ethernet Adapter]が表示されない

原因	本製品を取り付けていない、または、正しく取り付けていない。
対処	本製品を差し込んでいない状態では表示されません。本製品がPCカードスロットに差し込まれていることを確認してください。 タスクトレイ（画面右下）にPCカードアイコンがなければ、本製品をそのまま取り外して、もう一度取り付けてください。 タスクトレイにPCカードアイコンがあれば、**【本製品を取り外す】(92ページ)**を参照して、カードを取り外し、再度取り付けてください。

本製品が正常に動作しない
[デバイスマネージャ]の確認で、[I-O DATA WN-A54/PCM Ethernet Adapter]の頭に、黄色の！マークがついている

原因1	本製品を取り付けていない、または、正しく取り付けていない
対処	本製品を差し込んでいない状態では表示されません。本製品がPCカードスロットに差し込まれていることを確認してください。 タスクトレイ(画面右下)にPCカードアイコンがなければ、本製品をそのまま取り出して、もう一度取り付けてください。 タスクトレイに PC カードアイコンがあれば、【本製品を取り外す】(92 ページ)を参照して、カードを取り出し、もう1度、取り付けてください。

原因2	間違ったドライバが既にインストールされている、または、インストール時に[スキップ]ボタンや[キャンセル]ボタンなどをクリックして中断したためにドライバが正常にインストールされていない
対処	以下の①②をご確認ください。 *① [デバイスマネージャ]の一覧の[その他のデバイス]の下に[イーサネットコントローラ](Windows Meでは[PCI Ethernet Controller])がある場合*  ある場合は、[イーサネットコントローラ]を右クリックし、表示された[削除]をクリックして削除後、パソコンを再起動してください。 再起動後、以下の個所を参照して、再度インストールしてください。 ・ *Windows XP* → 9ページ参照 ・ *Windows 2000* → 14ページ参照 ・ *Windows Me* → 20ページ参照 *② [デバイスマネージャ]の一覧→[ネットワークアダプタ]の下に[イーサネットコントローラ]がある場合*  (次ページへ)

対処（続き）

（前ページからの続き）

ある場合は、[イーサネットコントローラ]を右クリックし、表示された[削除]をクリックして削除後（削除できない場合は以下の【[イーサネットコントローラ]を削除できない場合】へお進みください）、パソコンを再起動してください。

再起動後、以下の個所を参照して、再度インストールしてください。

- *Windows XP* → 9ページ参照
- *Windows 2000* → 14ページ参照
- *Windows Me* → 20ページ参照

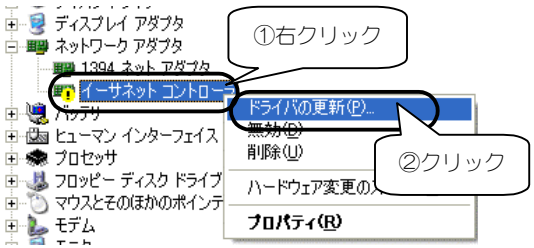
・[イーサネットコントローラ]を削除できない場合

Windows XPおよびWindows 2000の場合は、[イーサネットコントローラ]を削除しようとすると以下のエラー画面が表示される場合があります。



その場合は、[OK]ボタンをクリック後、以下の手順でドライバを更新してください。

1. [イーサネットコントローラ]を右クリック後、表示された[ドライバの更新]をクリックします。



対処 （続き）	2. ［ドライバの更新］クリック後、以下の個所を参照してドライバを更新してください。 ・ *Windows XPの場合* → 10ページ**3**の手順以降参照 ・ *Windows 2000の場合* → 15ページ**3**の手順以降参照

インストール画面が表示されない

対処	111ページ**【本製品が正常に動作しない】**の［対処］を参照してください。

［ネットワーク］画面で、［I-O DATA WN-A54/PCM Ethernet Adapter］が表示されない

対処	111ページ**【本製品が正常に動作しない】**の［対処］を参照してください。

［マイネットワーク］に、他のコンピュータ名が表示されない

原因1	本製品を正しく取り付けていない。
対処	タスクトレイ（画面右下）にPCカードアイコン（またはハードウェアの取り外しアイコン）がなければ、本製品をそのまま取り外して、もう一度取り付けてください。PCカードアイコン（またはハードウェアの取り外しアイコン）があれば、**【本製品を取り外す】(92ページ)**の各OSの項を参照して、カードを取り外し、再度取り付けてください。 正しく通信できていれば、本製品のランプが点滅します。

原因2	アクセスポイントを使用していない場合で、他のワークグループのパソコンと同じワークグループ名が指定されていない。
対処	**【インストール状態を確認する】(82ページ)**の各OSの項を参照して、ネットワーク上のすべてのパソコンに対し、同じワークグループ名を指定してください。

原因3	アクセスポイントを使用している場合で、アクセスポイントと同じSS IDを設定していない。
対処	アクセスポイントと通信する場合は、アクセスポイントと同じSS IDにする必要があります。SS IDを同じ値にしてください。

原因4	IPアドレスの設定が間違っている。
対処	正しい設定にしてください。

原因5	受信状態が悪い。（電波が届かない。）
対処	無線間の距離を短くしたり、障害物を取り除いたり、再度試してみてください。

「レジューム」「ハイバネーション」「スタンバイ」の後、動作が不安定になる

対処	「レジューム」「ハイバネーション」「スタンバイ」を行わないように設定してください。



注意！

「レジューム」「ハイバネーション」はメーカー独自のユーティリティやパソコン本体のBIOS で設定している場合があります。
設定を変更するにはパソコン本体の取扱説明書をご覧になるか、パソコンメーカーにお問い合わせください。



参考

「レジューム」とは…
→レジューム機能とは、しばらく何も操作しないでいたり、電源を入れたままノートパソコンのふたを閉めると自動的に働く省電力機能です。

レジューム機能の停止方法(Windows Me の例)
①[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]の[電源の管理]アイコンをダブルクリックします。
②[システムスタンバイ]欄の[電源に接続][バッテリを使用中]を共に「なし」に設定してください。



参考

「ハイバネーション」とは…
→ハイバネーション機能とは、ノートパソコンでバッテリーが残り少なくなると自動的に電源を切る直前の状態をハードディスクに保存しておき、電源を入れた時に元の状態に戻す機能です。
ハイバネーション機能が無効になるよう設定してください。



参考

本製品を使用中は、スタンバイ機能に対応しているパソコンでは"[スタート]→[Windowsの終了]"での[スタンバイ]は選択しないでください。

設定ユーティリティがインストールできない（以下のようなエラーとなる）

エラーメッセージ

「InstallShieldエンジン(iKernel.exe)をインストールできませんでした。
システムは、指定されたデバイスからは読み取れません。」

原因	パソコンに常駐しているアプリケーションが、InstallShieldの動作の妨げになっている。 （弊社では、RealNetworks社提供の「RealJukebox」がインストールされている環境にて発生することを確認しています。）
対処	設定ユーティリティをインストールする場合のみ、常駐しているアプリケーションを常駐解除してください。（「設定ユーティリティ」のインストール時のみのもので、インストール後は、常駐してもかまいません。） ・RealJukeboxでの常駐を解除する例 1. タスクトレイに常駐している「RealJukebox」のアイコンを右クリックします。 2. メニューから「StartCenterを終了」をクリックします。 3. タスクトレイから常駐解除されたことを確認した上で、再度、設定ユーティリティをインストールしてください。 ※常駐解除は一時的な操作であり、アプリケーションをアンインストールする操作ではありません。

（Windows Meのみ）インストール後の確認で、[ネットワークパスワードの入力]画面が表示されない

原因	設定ユーティリティが正常にインストールされていない。
対処	【Windows Meでの確認】の【確認③】(89ページ)で、インストールが正常かを確認してください。

（Windows Meのみ）
インストール後の確認で、デスクトップ上に、[マイネットワーク]アイコンが表示されない

原因	ネットワークの設定で［Microsoftネットワーククライアント］が登録されていない。
対処	［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］→［ネットワーク］を開き、［Microsoftネットワーククライアント］が登録されているか確認してください。 無い場合は、［追加］ボタンで追加してください。 また、［優先的にログインする］を［Microsoftネットワーククライアント］になっているかも確認してください。

（Windows Meのみ）
[ネットワーク]画面に、
[TCP/IP－＞xxxxxxxx]は複数表示されているのに、
[TCP/IP－＞I-O DATA WN-A54/PCM Ethernet Adapter]
が表示されていない

原因	登録されているLANアダプタの数が多い。 （登録できるLANアダプタの数には、制限があります。）
対処	［ネットワーク］画面で、必要の無い、あるいは使用していないLANアダプタをクリックして、［削除］ボタンで削除してください。 ***●必要の無いLANアダプタの例*** ・以前使用していたが、現在使用していないLANアダプタ ・赤外線通信を行わない場合の「赤外線通信アダプタ」 **※赤外線通信アダプタの名称は、パソコン本体により異なります。** **また、パソコン本体のBIOSの設定が必要となる場合がありますので、詳細はパソコンメーカーにお問い合わせください。** ・インターネット・プロバイダに「AOL」を使用していない場合の「AOL Adapter」および「AOL Dialup Adapter」

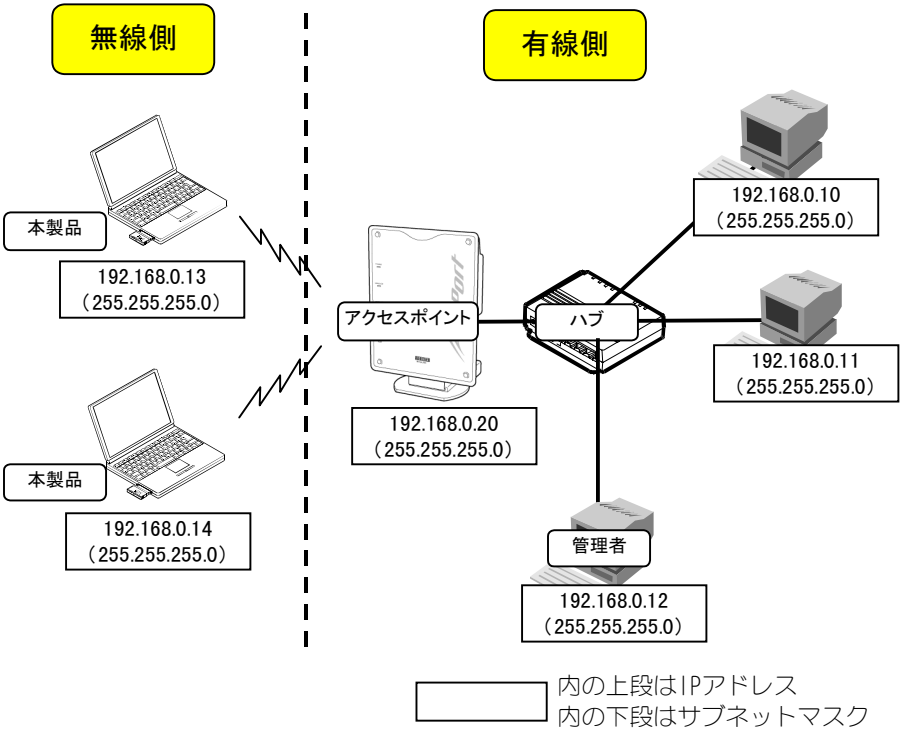
IPアドレス設定例

ここでは、IPアドレスの設定例等を説明します。

具体的なIPアドレスの設定例

以下はIPアドレスの設定例です。
お使いの環境によってIPアドレスを設定してください。

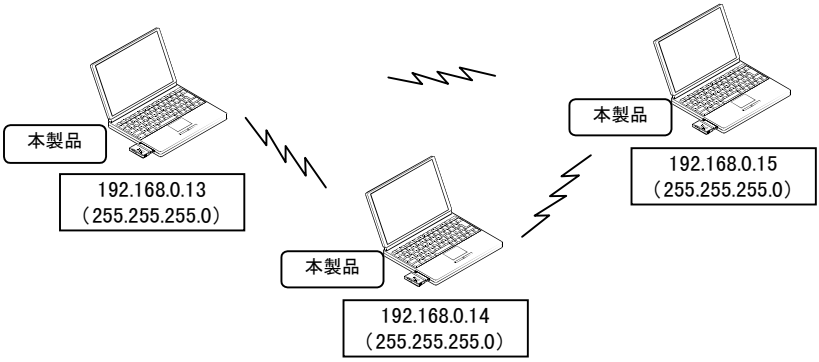
●Infrastractureの場合



参考

アクセスポイントは DHCP サーバー(IP アドレス自動割当)機能を持っていますので、パソコン側は IP アドレスを自動取得する設定でかまいません。

●Ad hocの場合



内の上段はIPアドレス
内の下段はサブネットマスク

参考

上図は、IP アドレスを固定した場合の例です。自動取得に設定している場合で、DHCP サーバーが存在しない場合は、「169.254.xxx.xxx」というアドレスが自動生成されます。

IPアドレスの設定の確認

パソコンに設定しているIPアドレスの確認や、パソコン間での正常な通信（接続）の確認は、Windows標準のコマンドで行うことができます。

●設定したIPアドレスが正しいかの確認方法

・Windows XPの場合

1 [スタート]→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[コマンドプロンプト]をクリックします。

2 IPCONFIG と入力し、[ENTER]キーを押します。

3 IPアドレスが正常に表示されるか確認してください。

・Windows 2000の場合

1 [スタート]→[プログラム]→[アクセサリ]→[コマンドプロンプト]をクリックします。

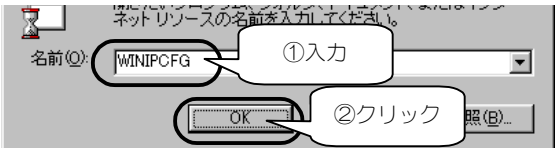
2 IPCONFIG と入力し、[ENTER]キーを押します。

3 IPアドレスが正常に表示されるか確認してください。

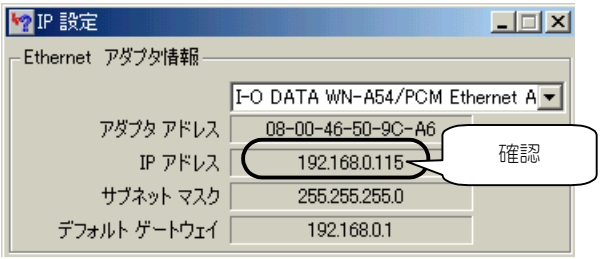
・Windows Meの場合

1 [スタート]→[ファイル名を指定して実行]をクリックします。

2 [名前]に WINIPCFG を入力し、[OK]ボタンをクリックします。



3 お使いのアダプタを選択し、IPアドレスが正常に表示されるか確認してください。
[IPアドレス]が「0.0.0.0」と表示された場合は、正常にIPアドレスが設定されていません。



●通信や接続が正しくできるかの確認方法(PINGコマンド)

Windows標準のPINGコマンドを使用して相手先のパソコンに正常に通信、あるいは接続が正常かを確認することができます。



注意!

以下で使用する PING コマンドを使用するには、パソコンに TCP/IP がインストールされている必要があります。

1 [MS-DOSプロンプト](またはコマンドプロンプト)を起動します。

・Windows XPの場合

［スタート］→［すべてのプログラム］→［アクセサリ］→［コマンドプロンプト］を順にクリックして起動します。

・Windows 2000の場合

［スタート］→［プログラム］→［アクセサリ］→［コマンドプロンプト］を順にクリックして起動します。

・Windows Meの場合

［スタート］→［プログラム］→［アクセサリ］→［MS-DOSプロンプト］を順にクリックして起動します。

2 以下のように入力し、[ENTER]キーを押します。

PING xxx.xxx.xxx.xxx　（xxx.xxx.xxx.xxx は相手先のIPアドレス）

入力例)　相手先のIPアドレスが「192.168.0.10」の場合は以下のように入力します。

PING　192.168.0.10

3 正常に相手先が表示されるか確認してください。

正常に接続されない場合、「Request timed out」や「Destination host unreachable」などと表示されます。

本製品のMACアドレスについて

MACアドレスは、本製品裏面のラベルの下側に記載されています。
（MACアドレスは、12桁の英数字です。）



参考

MAC アドレスとは…

個々の通信機器に固有のアドレスで、製品名毎ではなく、個々の製品すべてにおいて別々のアドレスです。

48bit の長さを持ち、世界中において重複することのないアドレスです。

用語解説

Ad hoc[アドホック]

アクセスポイントを介さずに、パソコン同士が直接通信しあう形態です。
他にインフラストラクチャモード（Infrastructure mode）があります。

DHCPサーバ(Dynamic Host Configuration Protocol Server)

DHCPとは各クライアントやEthernet機器へ起動時に動的にIPアドレスを割り当て、
終了時にIPアドレスを回収するためのプロトコルです。
同時にゲートウェイアドレスやドメイン名、サブネットマスクその他の情報を
ネットワーク上のクライアントやEthernet機器へ通知することもできます。

この動的にIPアドレスの割当を行う側の機器がDHCPサーバと呼ばれます。
ダイアルアップルータ等の機器もDHCPサーバの機能を持っています。

Ethernet[イーサネット]

米国ゼロックス社、ディジタル・イクイップメント社、インテル社によって開発されたネットワーク通信方式です。当初この方式は、基礎帯域伝達、CSMA/CDアクセス、論理バストポロジー、同軸ケーブルを使用して構成されていました。
後にIEEE802.3として規格化され、光ファイバー、広周波数帯域、ツイストペアで運用するリピータなどを使って拡張する追加機能が定義されました。

IEEE802.11

無線LANの国際的な標準規格です。
IEEE802.11aでは、通信速度が54Mbpsまで拡張されています。

Infrastructure[インフラストラクチャ]

アクセスポイントを介して通信する形態です。

MACアドレス(Media Access Control Address)

Ethernet機器ごとの固有の物理アドレスです。
MACアドレスは、先頭からの3バイトのベンダーコードと残り3バイトのユーザコードの6バイトで構成されています。
ベンダーコードはIEEEが管理／割当を行っており、ユーザコードは、Ethernet機器メーカーが独自の番号（重複することのない）で管理を行い、世界中で単一のアドレスが割り当てられています。
Ethernetではこのアドレスを元にしてフレームの送受信を行っています。

Mbps(Megabits per second)[メガビーピーエス]

１秒間に伝送するデータの単位です。
54Mbpsは１秒間に54メガビットのデータを伝送できます。

OFDM[オーエフディーエム]

Orthogonal Frequency Division Multiplex。直交周波数分割多重。

SS ID(Service Set ID)[エスエスアイディー]

複数の無線ネットワークが存在する場合に、それらをグループ化するための識別子（ID）です。
SS IDが一致していないとそのネットワークには参加できません。

TCP/IP

主にインターネット上などで使用される基本プロトコルの１つです。

WEP(Wired Equivalent Privacy)

IEEE802.11aに含まれる標準の暗号化方式です。
各無線通信機器同士が共通の暗号鍵を使用して通信データを暗号化します。
暗号鍵を知らないパソコンは通信に参加することができません。

アクセスポイント

インフラストラクチャモード（Infrastructure mode）での通信の中継点となるポイントです。
他のパソコンでは、アクセスポイントと通信することで他のパソコンと通信します。
有線LANと無線LANの中継点ともなります。

チャンネル

無線通信では、使用する周波数帯域を分割して、それぞれの帯域で異なる通信を行うことができます。
チャンネルとは、その分割された個々の周波数帯域のことです。

ピアツーピア接続

サーバ／クライアントのような上下関係の無い対等な関係で行う通信のことです。

ローミング機能

複数のアクセスポイントを設置した環境で、各アクセスポイントのサービスエリア間を移動した場合に、自動的にアクセスポイントを切り替える機能です。
その場合、それぞれのアクセスポイントのSS IDとWEPが同じ設定である必要があります。

仕様

商品名	IEEE 802.11a 無線LAN PCカード
製品型番	WN-A54/PCM
規格	IEEE 802.11a
周波数帯域	5.2GHz帯　（5.15～5.25GHz）
チャンネル	34,38,42,46ch
伝送速度	54,48,36,24,18,12,6Mbps
変調方式	OFDM（直交周波数分割多重）IEEE 802.11a準拠
無線設備の種別	小電力データ通信システム
データ到達距離（最大）	約100m（環境により変化します。）
セキュリティ方式	WEP64/128bit（Wired Equivalent Privacy）， SS ID（Service Set ID） ※SS IDはアクセスポイント使用時
アクセス方式	CSMA/CA
モード	アドホック（Ad hoc） インフラストラクチャ（Infrastructure） ※インフラストラクチャはアクセスポイント使用時
アンテナ方式	ダイバーシティ・アンテナ
LED表示	POWER,NETWORK
ホストインターフェイス	PCカードTypeⅡ（CardBus）
使用電源	DC3.3V±5%
消費電流	最大約560mA
使用温度範囲	+5℃～+35℃
使用湿度範囲	20%～80%（結露しないこと）
外形寸法	119（D）mm×54.0（W）mm×5.0（H）mm （アンテナ部高さ10.4mm）
質量	約50g（付属品含まず）
適応規格	JATE TELEC
認定番号	D01-09441JP 01WYBA1007

PLANTコールセンターへのお問い合わせ

■お知らせいただく事項

1. お客様の住所・氏名・郵便番号・連絡先の電話番号及び FAX 番号
2. ご使用の弊社製品名と、ハードウェアシリアル No.
3. ご使用のパソコン本体と周辺機器の型番。
4. ご使用の OS とアプリケーションの名称、バージョン及びメーカー名。
5. 現在の状態(どのようなときに、どうなり、今はどうなっているか。画面の状態やエラーメッセージなどの内容)。

■オンライン

インターネット **http://www.iodata.jp/support/**
「PLANTコールセンターお問い合わせ」内のフォームを使用して、E-Mailをお送りください。

■郵便

〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地 ｱｲ･ｵｰ･ﾃﾞｰﾀ第２ビル
株式会社アイ・オー・データ機器
PLANTコールセンター「WN-A54/PCM」係宛

■電話

電話番号 **金沢 076-260-3644**
東京 03-3254-1144
受付時間 9:30～19:00 月～金曜日(祝祭日を除く)

■FAX

FAX 番号 **金沢 076-260-3360**
東京 03-3254-9055
宛先 株式会社アイ･オー･データ機器
PLANT コールセンター「WN-A54/PCM」係 宛

本製品に関するお問い合わせは、PLANT コールセンターのみで行っています。
予めご了承ください。

設定ユーティリティのバージョンアップ

「設定ユーティリティ」がバージョンアップした場合は、以下の方法で入手できます。

■オンライン

サポートライブラリ　　http://www.iodata.jp/lib

■サービス窓口からの郵送

下記の窓口までお問い合わせください。（送料及び手数料はお客様負担）

住所　〒920-8513　石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第２ビル
株式会社アイ・オー・データ機器
「WN-A54/PCM」 サービス窓口　宛
電話番号　076-260-3663
受付時間　9:30〜12:00　13:00〜17:00
月〜金曜日（祝祭日を除く）

■ご注意

●インターネットによるダウンロードはお客様の責任のもとで行ってください。

保証について

■保証期間

保証期間は、添付の「ハードウェアシリアル No. シール」に記載されています。
保証期間を過ぎたものや、保証書に販売店印とお買い上げ日の記述のないものは、有償修理となります。また、修理を受ける場合には保証書が必要になりますので、大切に保管してください。
弊社が販売終了を決定してから、一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。

詳細は、ハードウェア保証書をご覧ください。

■保証範囲

次のような場合は、保証の責任を負いかねます。予めご了承ください。

- 本製品の使用によって生じた、データの消失及び破損。
- 本製品の使用によって生じた、いかなる結果やその他の異常。
- 弊社の責任によらない製品の破損、または改造による故障。

修理について

弊社製品の修理につきましては、以下の事項をご確認の上、販売店へご依頼いただくか、または下記修理品送付先までお送りくださいます様、お願い致します。

●原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。
●修理品にはご使用の環境や現在の状態（『PLANT コールセンターへのお問い合わせ』の「お知らせいただく事項」）をお書き添えください。
●保証期間中は無償で修理いたします。ただし、次の場合は有償となります。
◇保証書がない場合
◇保証書の所定事項が未記入の場合
◇逆挿入など誤った操作方法や、お買い上げ後の輸送、落下、取り付け場所の移設による破損、故障の場合
◇落雷などの事故による破損の場合
◇本製品を改造した場合
● 保証期間後は有償で修理いたします。
製品によっては主要部品がユニット化（一体化）されている場合があります。これらの製品で故障が主要部品におよんでいた場合、各ユニットの交換を実費で行います。
● 修理品送付先

住所　〒920-8513
石川県金沢市桜田町2丁目84番地　アイ・オー・データ第２ビル
株式会社アイ・オー・データ機器
「WN-A54/PCM」 修理係　宛

※修理品を送付される場合は、輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材を使用してください。また、紛失等のトラブルを避けるため、**宅配便**または**書留郵便小包**でのご送付をお願いいたします。

● 修理品納期問い合わせについて

受付窓口　「WN-A54/PCM」 サービス窓口
電話番号　本社　076-260-3663
受付時間　9:30〜12:00　13:00〜17:00　月〜金曜日（祝祭日を除く）

※申し込まれた修理品の納期をお知りになりたい場合は、上記までお問い合わせください。

WN-A54/PCM 取扱説明書
2002.Feb.04　105686-01
発 行　株式会社アイ・オー・データ機器
〒920-8512 石川県金沢市桜田町３丁目１０番地

© 2002 I-O DATA DEVICE,INC. All rights reserved.
本製品及び本書は著作権法により保護されておりますので
無断で複写、複製、転載、改変することは禁じられています。